

三、滿洲國

(A) 現狀維持ノ場合

□ 前提ニ就テハ前掲日本ノ場合ト同様トス。

(三七頁参照)

□ 推算方法

(1) 各主要商品別ニ推定セリ。

(2) 昭和十一年以降三ヶ年ニ亘ル重要商品ノ輸出指數ヲ参照シ、一九

三八年ヲ底トシテ十四年ニハ若干好轉スルモノトシ、十五年度ハ

前年指數ニ於テ約一〇%前後増加スルモノトシテ計算シタリ。

(3) 我國ノ物動計畫品目ハ原則トシテ我國ニ吸收スルコトトシ、外國

向輸出ヲ計上セサルコトトシタリ。

(4) 物動計畫品ト雖モ我國以外ニ輸出氣力アリト認メラルモノ例へ

ハ、皮革、高粱、玉蜀黍、苦土ノ如キハ昭和十三年並ニ外國向輸

出スルモノトス。

(5) 其他商品ハ最近漸減ノ傾向ニアレ共十四年十五年共大體十三年度

並輸出スルモノトス、

(6) 其他滿洲國貿易ノ特殊事情ヲ適宜參照シタリ。

丙 結果

右ノ結果輸出總額ニ於テハ昭和十四年ハ十三年ト殆ト同程度、二五〇百萬圓、十五年度ハ、二七一百萬圓ノ輸出ヲ豫想セラル、十一年度基準指數夫々七九・〇五%八五・六三%ニ當ル。重要商品ニ於テハ十四年度九六・二九%十五年一〇五・八一%ニ達スルモ雜品ニ在リテハ四四〇%ヲ持スル程度ナリ。

尙商品別詳細推計ニツイテハ、第二十二表參照スヘシ。

(四) 經濟斷交實施ノ場合

〔前提ニ就テハ前掲日本ノ場合參照スヘシ。(四七頁參照)〕

丙 推算方法

(1) 商品別國別推計ノ基礎薄弱ナルニヨリ國別ニ算出スルヲ妥當トス。

(2) 英米佛ソ及屬領ノ推定率ハ前述本邦輸出豫想Bノ場合ニ準シ殘存率ヲ參照シ適當ニ推定セリ。

(3) 其他ノ國ハ原則トシテ前年度据置モノトシテ推定セリ。(參照)

円結果、斷交ノ場合ニハ英米佛ソ及同屬領へ減少スルモ其他ノ國ハ

十三年据置トシタルカ元來滿洲國ノ對制裁國向輸出ハ日本ト異リ

比較的重要性低キニ鑑ミ(第一四表参照)減少率約ク一八七百萬

圓ニ止マリ昭和十一年ニ比シ五九・二〇%ニ相當ス。

尙國別詳細推計ニツイテハ第二十三表参照スヘシ。

(D) 戰爭開始ノ場合

□ 前提ハ前掲日本ノ場合ニ同シ。

□ 推算方法

此場合ニ於ケル計算方法ハ

甲 南洋ノ制海權ヲ把握スル場合

乙 然ラサル場合

ニ分チ、前述日本ノ場合ニ準シ(五二―五五頁参照)國別ニ殘存率ヲ

想定シ、昭和十三年ヲ基準トシテ算出シタリ。

□ 結果、右ニ依レハ滿洲國ノ輸出貿易ハ甲ノ場合九一〇萬圓ニ落チ

昭和十一年ニ比較シ二八・七六%ニ該當シ、乙ノ場合ニハ、八四

百萬圓トナリ、十一年ニ比シ二五・六九%ニ相當ス。  
尙國別詳細推計ニツイテハ第二十四表参照スヘシ  
以上A・B・Cノ場合ニ於ケル輸出豫想總括表左ノ如シ。(六八頁)

滿洲國輸出推定一覽表

(單位 千圓幣圓)

商 品 別	輸 出 實 績 (A)					國 別	(B)		
	昭和十二	十三	十四	十五	十五		(B)	(B)	(B)
猪 鬃	1837	4301	4053	4972	4114	英 吉 利	1951	277	
其 他 獸 毛	941	1451	1294	1317	1364	香 港		2301	
生 皮 熟 皮	6	75	1			海 峽 殖 民 地	1	182	111
皮 貨	1850	269	639			英 領 印 度	73	14	
大 荳	35173	13410	149168	16208	17725	加 奈 陀	18	282	
其 他 荳	1489	1314	226	382	531	中 南 支	659	50	
蕎 麥	34	214	2			佛 領 印 度 支 那	50	50	
高 粱	999	1674	1864	1998	2000	中 南 支	659	282	
玉 蜀 黍	2100	1624	6438	2100	2100	佛 領 印 度 支 那	50	50	
小 麥	2157	235	2848	2841	2841	佛 領 印 度 支 那	50	50	
小 麥	468	767	273	276	744	佛 領 印 度 支 那	50	50	
蘇 子	6405	8363	715	843	4484	佛 領 印 度 支 那	64408	64408	
蘇 子	166	154	8	8	8	佛 領 印 度 支 那	1	4	
蘇 子	19468	24719	590	599	666	佛 領 印 度 支 那	64408	64408	
蘇 子	664	642	590	599	666	佛 領 印 度 支 那	64408	64408	
蘇 子	1644	9276	4619	4651	3315	佛 領 印 度 支 那	50	50	
蘇 子	16	4	33	33	48	佛 領 印 度 支 那	50	50	
石 生 蠟	1879	14341	749	952	440	佛 領 印 度 支 那	50	50	
花 生 油	255	23	7	7	10	佛 領 印 度 支 那	50	50	
蘇 子	880	1669	530	592	880	佛 領 印 度 支 那	50	50	
蘇 子	507	148	54	109	164	佛 領 印 度 支 那	50	50	
蘇 子	9	26	8	9	10	佛 領 印 度 支 那	50	50	
芝 麻	804	2978	641			佛 領 印 度 支 那	50	50	
混 合 飼 料	1	1	1	1	1	佛 領 印 度 支 那	50	50	
煤 岩	489	415	739			佛 領 印 度 支 那	50	50	
頁 岩	489	415	739			佛 領 印 度 支 那	50	50	
木 材	916	828	609	641	733	佛 領 印 度 支 那	50	50	
野 蠶 絲	255	516	1			佛 領 印 度 支 那	50	50	
廣 蠶 絲	223	1841	416			佛 領 印 度 支 那	50	50	
綿 羊 毛	2297	751	18			佛 領 印 度 支 那	50	50	
生 鐵 及 鐵 鋼	299	166	1			佛 領 印 度 支 那	50	50	
鐵 鋼 及 製 品	1413	1573	495	531	584	佛 領 印 度 支 那	50	50	
普 通 玻 璃 片	531	881	328	531	584	佛 領 印 度 支 那	50	50	
滑 石	438	946	307			佛 領 印 度 支 那	50	50	
苦 石	83	140	433	328	369	佛 領 印 度 支 那	50	50	
鹽 酸	1206	754	433			佛 領 印 度 支 那	50	50	
山 羊 毛	177	2	51			佛 領 印 度 支 那	50	50	
紙 袋			273			佛 領 印 度 支 那	50	50	
耐 火 粘 土			273			佛 領 印 度 支 那	50	50	
水 泥			273			佛 領 印 度 支 那	50	50	
其 他 商 品	36099	26503	29401	29889	27665	佛 領 印 度 支 那	50	50	
總 計	36099	26503	29401	29889	27665	佛 領 印 度 支 那	50	50	

北支那

(A) 現状維持ノ場合

前提計算方法ハ全然滿洲國ノ計算方法ニ準ス。此ノ結果昭和十四年度一二一〇萬圓ニシテ、一九三五年ニ對スル一〇八・二二%トナリ十五年ニハ、一三三〇萬圓ニシテ、一一八・七五%トナル。

北支ノ貿易ニ於テハ、中南支向貨物（轉口貨物）ヲ含有シテラサルヲ以テ、若シ中南支ヲ純然タル外貨地域ト見ル場合ニハ、之ヲ外貨ト着做スヲ要スルモ、轉口貨物ノ幾許カ外貨獲得トナルヤニツイテハ之ヲ後日ノ研究ニ委ス可シ。

尙商品別ノ詳細推計ニツイテハ第二十四表參照スヘシ。

(B) 經濟斷交實施ノ場合

日本及滿洲ト全様ニ國別輸出表ニ從ヒ増減ノ殘存%ヲ算定シタリ。此ノ結果輸出額ハ六〇百萬圓ニ激落シテ十三年度ニ對スル五五・二九%ニ相當ス、之ハ北支ノ對外國輸出貿易カ前掲ノ如ク英米ニ依存スル程度極メテ高キニ基クモノナリ。

尙國別詳細推計ニツイテハ第二十四表参照ス可シ。

(0) 戦争開始ノ場合

戦争開始ノ場合ニ於テモ其計算方法ハ全ク日本滿洲國ノ場合ニ準ス其結果

(甲) 南洋ノ制海權把握ノ場合ニハ輸出ハ二九百萬圓トナリ、十三年ニ對スル二二・四三%ニ當ル。

(乙) 南洋ノ制海權ヲ失フ場合ニ於テハ僅カニ一三百萬圓、十三年ニ對スル一・〇三%ニ相當ス。

尙國別詳細推計ニ關シテハ第二十四表参照スヘシ。

北支那輸出推定一覽表 (單位千圓幣弗)

七一下

商 品 別	昭和十一年			昭和十二年			昭和十三年			昭和十四年			昭和十五年			國 別
	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)	
豚毛	1493	490	1096	390	1540	1054	449	1449	449	1449	449	1449	449	1449	449	
豚卵	1396	1009	1032	1403	1655	1581	100	1485	100	1485	100	1485	100	1485	100	
加工	1500	1032	1032	1372	1581	1581	100	1485	100	1485	100	1485	100	1485	100	
獸肉	1466	2002	2002	2895	3895	3895	100	1485	100	1485	100	1485	100	1485	100	
鳥粉	60	5	5	48	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
骨粉	43	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
皮及革	52	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
毛皮(未仕上)	609	269	269	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
毛皮(仕上)	962	1632	1632	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
豆類	685	925	925	1059	1159	1159	1159	1159	1159	1159	1159	1159	1159	1159	1159	
糠	146	288	288	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
落花生	146	742	742	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
麥類	655	587	587	486	486	486	486	486	486	486	486	486	486	486	486	
胡椒	460	387	387	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
甘藷	764	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	
大落花生	1559	1658	1658	2464	2510	2510	2510	2510	2510	2510	2510	2510	2510	2510	2510	
落花生	978	1126	1126	1783	1461	1461	1461	1461	1461	1461	1461	1461	1461	1461	1461	
杏仁	589	666	666	666	666	666	666	666	666	666	666	666	666	666	666	
棉實	142	815	815	815	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	
亞麻	22	244	244	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	
紙卷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
葉煙草	1501	998	998	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
豆類及マカ	1501	998	998	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
石炭	1501	998	998	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
棉花	1501	998	998	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
大落花生	1501	998	998	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
黃麻	93	294	294	354	354	354	354	354	354	354	354	354	354	354	354	
駝毛	1505	998	998	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	
山羊毛	1327	937	937	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	
綿羊毛	1906	1620	1620	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	
刺織品	1598	407	407	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	
絹織品	1239	1681	1681	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	
絹織品	1504	1128	1128	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	
カーペット	4103	1857	1857	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	
麥稈	1431	775	775	809	809	809	809	809	809	809	809	809	809	809	809	
ヘアーネット	1161	1180	1180	1219	1219	1219	1219	1219	1219	1219	1219	1219	1219	1219	1219	
鹽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
以上重要商品計	11700	15176	15176	11700	15176	15176	11700	15176	15176	15176	15176	15176	15176	15176	15176	
其他商品計	6467	3853	3853	853	853	853	853	853	853	853	853	853	853	853	853	
總計	18167	19029	19029	12553	16029	16029	12553	16029	16029	16029	16029	16029	16029	16029	16029	

(註一) ×中南支ハ轉口貨物ノ詳細不明ニ付拙上セス。



日滿北支一體

以上述へタル日本滿洲國及北支那ノ輸出貿易豫想ヲ、日滿支一體ノ方針ニ基キ統合スレハ左表ヲ得、之ニ依レハ輸出合計次ノ如シ。

A、現状維持ノ場合

昭和十四年

二、一三六百萬圓

B、經濟斷交實施ノ場合

昭和十五年

一、五五三百萬圓

C、戰爭開始ノ場合

甲、南洋制海權把握ノ場合

昭和十五年

七九四百萬圓

乙、南洋制海權喪失ノ場合

昭和十五年

六一四百萬圓

右ハ北支那及滿洲國關東州ヲ圓ブロツクトシテ、中南支ハ當然全部外貨獲得地域トシテ計算シタルモノナリ、然シ乍ラ、中南支貿易ノ何%カ外貨獲得トナルヤハ算定困難ナルヲ以テ、假ニ、中南支ヲ全部圓ブロツク中ニ含メルモノトスレハ、外國向輸出總額ハ左ノ如クナル可シ

B、經濟斷交實施ノ場合 昭和十五年 一、三二〇百萬圓

C、戰爭開始ノ場合

甲、南洋制海權把握ノ場合 五六一百萬圓

乙、南洋制海權喪失ノ場合 三八一百萬圓

甲、日滿北支第三國向輸出推定表 (單位 千圓)

輸出管轄	昭和十一年		十二年		十三年		十四年		十五年		十五年		十五年甲		十五年乙	
	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)
内地	二一三四八二	二四八一五九六	一六三八三九九	一七一八八〇〇	一八三四二三五	一六四二九二	六四二四九〇	四九六二二								
朝鮮	七八三五	一八五四六	九六九四	二〇〇〇	二四一〇〇	二一三〇〇	一七二五〇	九〇五〇								
臺灣	三三六五四	三三九〇五	一三五八九	三〇〇〇	三一五〇〇	一六八〇〇	一五〇四〇	八五三〇								
南洋	一七五	三八八	一六七六	四五〇	四七〇	四〇〇	二五〇	二〇〇								
計 (中南支向 控除分)	二一六六四八六	二五二三四三五	一六六三三五八	一七六五二五〇	一八九三三〇五	一三〇五七九二	六七五〇三〇	五二七〇二二								
滿洲國 (中南支向控除分)	三一六〇九九	二八〇二四五	二五〇三五四	二四九八八九	二七〇六六五	一八七一三四	九〇九一二	八四二九四								
北支那 (中南支向控除分)	一二六三六五	一五九一三二	一一一三〇八	一二〇九四二	一三三七〇〇	六〇三三六	二八五四五	一三二二六								
總計 (中南支向控除分)	二六〇八九五〇	二九六一八一	二〇二四〇二〇	二一三六〇八一	二二九三六七〇	一五五三二六二	七九四四八七	六一四四三二								

(註一) 括弧内ハ中南支子國プロツクトシタル場合ノ數字ナリ。  
 (註二) 邦貨圖ニ換算シテ計ス

七三ノ下

五 B Oノ場合ニ於ケル昭和十六年度推定

〔十五年B、十六年Oノ場合

經濟斷交ノ翌年戰爭アルモノト想定スル場合、我輸出貿易ニ及ホスヘキ影響ヲ考フルニ、前述想定セル戰爭ノ場合ノ對前年減少率ハ平時ヲ基準トシタルモノニシテ、經濟斷交ノ翌年戰爭アサトスル場合ニ於テモ斷交ニヨリ減少セル數字ヲ基準トセルハ不合理ナルヲ以テ十六年Oノ數字ハ前述十五年Oノ數字ヲ以テ當ツルヲ適當トス。外地、滿洲、北支モ同様ナリ。

〔十五年O、十六年Oノ場合

戰爭第二年目ニ於ケル輸出貿易ニ及ホセル影響ヲ考フルハ極メテ至難ニシテ、戰爭ノ推移如何ニヨリ大ナル變化アルヘシト思ハルルヲ以テ殆ント不可能ナル事ナリ。試ミニ大戰時ニ於ケル獨逸ノ場合ヲ考フルモ、地理的關係、商品ノ構成等ニ於テ本邦ト異ルト共ニ、戰爭初期ニ於テハ北米合衆國參戰セス、後期ニ於テハ物價昂騰現レ居ルヲ以テ之ヲ基準トスル能ハス。

内地第三國向輸出ニ於ケル  
 戦争第一年及第二年比較表

(單位千圓)

戦争第一年	戦争第二年	同對第一年減少額	率%
昭和12年 7月	13年 7月		
227.209	109.182		
8月	8月		
202.578	147.460		
9月	9月		
225.477	138.997		
10月	10月		
231.686	154.712		
11月	11月		
191.587	159.277		
12月	12月		
193.729	186.968		
13年 1月	14年 1月		
114.014	100.004		
2月	2月		
122.064	117.080		
3月	3月		
133.200	151.170		
4月	4月		
130.194	125.256		
5月	5月		
125.123	162.176		
6月	6月		
117.209	145.193		
計	計		
2014.070	1697.475	316.595	15.7

依ツテ事變勃發以來ノ我第三國向輸出ヲ第一年目、第二年目ト分  
キ見レハ（六四の三頁表参照）第二年目ニ於テ一五・七%減少セ  
ルヲ知ル。

此場合ニ於ケル戦争ハ遙カニ大規模ナルモノト想定セララルルヲ以  
テ右ハ基準トナラサレ共一應第一年目ニ對シ二〇%減少スルモノ  
トシテ算定セリ。外地、滿洲、北支モ同様ニシテ推算セリ。

以上ヲ綜合スレハ次ノ如シ。

總計 (中南支控除分)	北支那 (中南支控除分)	滿洲國 (中南支控除分)	日本				十五年B
			內地	朝鮮	臺灣	南洋	
一三二八八五四	六〇三三六	一八七一三四	一三〇七九二	一七三〇〇	一〇八〇〇	四〇〇	一三六四二九二
五六一〇七九	二八五四五	二七五〇四	六七五〇三〇	一七二五〇	一五〇四〇	二五〇	六四三〇九〇
三八一〇二四	一三一二六	二〇八八六	五二七〇二二	九〇五〇	八五三〇	二〇〇	四九六二三二
五六一〇七九	二八五四五	二七五〇四	六七五〇三〇	一七二五〇	一五〇四〇	二五〇	六四三〇九〇
三八一〇二四	一三一二六	二〇八八六	五二七〇二二	九〇五〇	八五三〇	二〇〇	四九六二三二
四四八八六三	二三八三六	二二〇〇三	四〇四〇二四	一三八〇〇	一三〇三二	二〇〇	五四六九九二
三〇四八二〇	一〇五〇一	一六七〇九	二七六六一〇	七二四〇	六八二四	一六〇	四三三三八六

(單位 千圓)

### 第三 輸入資源確保限度

#### A、現状維持ノ場合

##### (一) 前提

現状維持ノ場合ニ於テ、輸入貿易ヲ制約スル客觀的條件並ニ調査前提ハ次ノ如シ。

(1) 世界貿易ノ分野ニ於テ、現在世界列強ハ戰時經濟プロツクノ整備ニ専ラ盡粹シ既ニ部分的ニハ軍需資源獲得ヲ目的トスル軍需資材ノ輸出禁止ヲ行ヒツ、アルモノアリ、特ニ世界資源ノ倉庫タル植民地及ヒ半植民地諸國ニ對スル本國乃至列強ノ支配ハ最近ニ至リ軍需資源ノ獨占的專有ノ方向ヲ強メ、爲メニ我力國ノ軍需資材獲得ノ困難ハ愈々加重スルモノアリ。

(註) 現在輸出禁止政策ヲ採用セル例

佛蘭西 一九三八年九月軍需向金屬類及化學藥品類ノ輸出ヲ禁止ス。

佛領印度一九三九年三月鐵礦、マンガン礦、錫、タンダス

テ、鉛、亜鉛、アンチモニー等ノ輸出ヲ禁止ス。

歐洲一九三八年三月鐵礦輸出ヲ禁止ス。

米 國一軍需用飛行機對日輸出禁止強制。

(ロ) 然リト雖モ尙ホ一般的ニハ國際間ノ貿易ノ自由性ハ存在シ、商品交換ノ原則ハ依然トシテ商業利潤ヲ基礎トシテ行ハレツ、アリ、從ツテ軍需資材ノ獲得ハ一般的ニ商品ノ國際市場價格、運賃及保險料ヲ基礎トスル輸入單價ニヨリテ、殆ト總テノ物資ノ確保ヲ爲シ得ル現狀ニアリ。

(ハ) カ、ル場合、國際市場ヨリノ資材ノ確保ハ、一ニ輸入力ノ如何ニカ、ル、即チ輸入力充分ナランカ、相當ノ量ニ上ル物資ノ独占モ亦可能ナルヘシ。然レ共、輸入力ノ制約ヲ考慮外ニ置クハ非現實的ナルノミナラス、カ、ル空想的推定ハ不可能ノ事ナレハ此處ニハ輸入力ノ標準ヲ規定シ、コレニ從ヒテ經濟斷交下及ヒ戰時ノ戰



入量ノ推定ヲ試ミタリ。

(二)右標準ハ昭和十三年ニ終ル前三ケ年ノ本邦輸入實績中ノ各國ヨリノ物資別最大輸入數量ノ總計トセリ。即チ昭和十一年下半年頃ヨリ、世界軍擴ノ競争力開始サレタル爲メ、世界貿易ノ趨勢マタ軍擴的性格ヲ帶ヒ來リタルヲ以テ、此ノ間ノ實績力當調査ノ内容ニ適合セル性質ヲ持ツモノトシテ此ノ期間ヲ採用シタルコト、及ヒ昭和十二年ハ所謂軍擴ト關聯セル見越貿易ニヨル世界ブーム現象ヲ生シ、本邦ニ於テモ未曾有ノ輸入増大ヲ見タル年ニシテ、コノ期間ト更ニ實戰下ニ於テ輸入物資ノ質的轉化ヲ示セル昭和十三年ノ實績トヲ共ニ對照シ檢討セハ、該調査ノ目的トシテノ「現狀下ニ於ケル最大ノ輸入可能量」ノ限度ハ比較的妥當性ヲ有スルモノト思考ス。

㊦推定方法

現狀維持ノ場合ノ物資別輸入可能量ハ各國ニツキ昭和十一年ヨリ十

三年ニ至ル三ケ年ノ本邦輸入實績最大ノモノヲ採ルコトトセリ。

但シ本邦輸入實績ノ判明セサルモノニ付キテハ、各國ノ輸出實績ヲ基礎トシテ、各國ノ事情、就中、對日態度、距離等貿易關係ニ影響アル諸事情ヲ考慮シ、更ニ又、國別輸出狀況ノ判明セサルモノニ付キテハ、各國ノ生産實績ヲ基礎トシ、尙前述ノ諸事情ヲ考慮シテ、其等實績ニ對スル本邦輸入ノ割合ヲ推定シテ算出セリ。之等推定ノ割合及ヒ理由ニツキテハ簡單ニ「物資別原表」備考欄ニ記載セルモ大略ノ方法ヲ記セハ左ノ如シ。

(イ) 本邦輸入實績ノアル場合一過去三ケ年間ノ輸入額最高

(ロ) 輸入實績判明セス相手國ノ輸出總額（物資別）ノミ判明セ

一及ヒ相手國ノ輸出總額モ判明セス、單ニ生産額ノ輸入量ノ總  
ノニ付キテハ左ノ比率ニ於テ算定セルモ、此ノ算定ニ付テハ

計ハ本邦ノ生産力ノ程度ニ應シ該物資ニテ輸入量ヲ算定セリ。

コノ最ヲ目標トシテ各國ヨリ左ノ

B、經濟斷交ノ場合

結果

結果ニツキテハ最後ニ、A・B・Oノ想定ヲ一括シテ記述セリ。

四 近東諸國

B	A
五分以下	一割以下

歐洲、阿弗利加

三 中南米諸國

B	A
一割以下	二割以下

米國、濠洲、新西蘭

二 英領印度、ヒルマ、イラン

B	A
二割以下	四割以下

佛領印度、英領馬來、暹羅

B	A
三割以下	五割以下

比律賓、蘭領印度、

南洋諸國及殖民地

左表(A)ノ比率ハ各國ノ商品別輸出總額ノミ判明ノ場合  
(B)ノ比率ハ各國ノ商品別生産總額ノミ判明ノ場合

〔前 提〕

(イ) 英、米、佛、ソ聯ヨリ經濟斷交ノ壓迫ヲ蒙リタル場合ニ於テハ、原則上ハ之等四ヶ國及ヒ其等ノ植民地ヨリノ對日軍需資材ノ輸出ハ禁止セラレ、本邦ノ軍需品輸入ハ第三國ノミトノ間ニ限ラル、コト、ナル。然シ乍ラ國際商品ノ流通ハ幾多ノ中立的第三國ノ存在スル限り活潑ニ行ハルモノニシテ、假令斷交國ノ對日軍需資材タリトモ第三國ノ手ヲ經テ本邦ヘ輸入セラル、モノトシ、コノ場合第三國ノ中ニハ「モラルサポート」ノ程度ニテ對日壓迫ニ加ハルモノアルヤモ知レサルモ、一般的ニハ之ニ加ハラステ對日貿易ハ依然トシテ繼續セラル、モノトス。

(ロ) 經濟斷交後ハ當然ニ將來戰ニ發展スルハ明カナルニ由リ、歐洲列強間ニ於テ戰爭準備ノ爲メニ第三國ノ船舶ヲ利用スルモノ増加スヘキハ云フヲ俟タサルモ、然モ尙ホ歐洲第三國並ニ中南米諸國ノ船舶ハ本邦ノ世界貿易ニ支障ヲ來ササル程度ノ輸送能力ヲ具備ス

ルモノトス。

(ハ) 獨逸、伊太利モ亦日本ト同時ニ先キノ諸國ヨリ經濟斷交ヲ蒙ルヘキモノトス。但シ、斷交下ニアリテハ、日獨伊間貿易ハ停止スルコトナク、寧ロ締盟國間ノ融通物資ニ付キテハ活潑ナル交換力營マル、モノトス。

(ニ) 葡領印度及ヒ中南米ハ重要資源ヲ所有スルノミナラス、地理的條件ノ有利ナルコト並ニ殘サレタル重要輸出市場トシテ、其ノ歸航船腹利用ノ可能ナルコト等ノタメ本邦ノ重要資材輸入對象地トシテノ比重ハ極メテ加重シ、此等地方ノ必要資源ハ優先的輸入シ、尙ホ不足スル物資ハ他ノ第三國ヲ通シテ購入スル方針ヲトレリ。

(ホ) 斷交國及ヒ其ノ植民地諸國ノ資材モ第三國ヲ通シテ輸入シ得ルモノトス。此ノ場合植民地ヨリノ輸入ハ本國ヨリノ輸入ヨリモ容易ニシテ、ソノ輸入シ得ル量ハ其等諸國並ニ植民地ノ輸出貿易ニ於ケル對日依存度ニヨリテ商品別ニ異ルモノトシ、コノ場合ノ輸入率

ハ別記ノ如シ。

(ハ) 經濟斷交カ行ハル、場合ハ直後ニ戰爭ヘノ發展ヲ見越シテ、當然ニ必要物資ノ莫大ナル見越輸入カ行ハル、ハ言チ俟タス、當調査ニ於テモ此ノ點多少ノ考慮ヲ拂ヒタルモ、資源獲得ハ各國ノ競争トナルコト明カニシテ、此ノ場合本邦ノミカ第三國資源ヲ獨占スルカ如キハ常識的ニハ不可能ナルコトナレハ、輸入力ノ程度ヲ考慮シツ、適當ニ見越輸入ヲ行ヒタリ。

(ト) 第三國中ニアル敵國資本會社所有ノ資材ニシテ本邦ノ輸入スヘキモノニ付キテハ、例ヘハ蘭印ニ於ケル石油ノ如キ實際ニハ「モラルサポート」ヲ以ツテ對日輸出障害ヲ行フコトアルヤ知レサルモ、此處ニハ大體コノ現象ヲ起ラサルモノトセリ。

(チ) 香港ヨリ日本ニ對シ支那重要資源ヲ輸出スル事實ハ現在ニ於テハ貿易統計上之レヲ見サレトモ、第三國ヲ通シテ輸入シ得ルモノアルヘシ、サレトモ之カ確實ナル證明ナキ場合、香港ヨリノ輸入ハ

除外セリ。

(1) 斷交國及ヒ其等植民地ニ存在スル日本人所有乃至採掘權アル資源乃至資材ハ其等諸國ヨリノ輸出禁止ニヨリ輸入不可能ニ陥ルヘキモノトス。

㊦ 推定方法

經濟斷交下ノ輸入推定ニハ、各國ニ於ケル各資材ノ對日輸出割合ヲ求メ、コノ對日依存度ト、先ノ前提條件ニヨル對日輸出制約事情ヲ考慮シテ適宜輸入量ヲ決定セルモ、大體ノ輸入比率ヲ示セハ次ノ如シ、但シ斷交國ヨリノ輸入ハ第三國經由ノモノトス。

左記(A) 本邦輸入實績最高(即チ▲ノ場合ノ數字)ニ對スル割合

(B) 各國商品別輸出實績ニ對スル割合(三ヶ年内ノ對日依存度不明ノ場合ハ古キ依存度ヲトル。依存率不明ノ時ハ五割以下ノ場合ヲトル)

對斷交國輸入比率(推定比率ノ幅ハ商品別變化ノ餘地ナリ)

4		3		2		1	
佛領印度、比律賓		英領印度、濠洲、ヒルマ		埃及、南阿聯邦		英、佛本國	
英領ボルネオ、英領馬來		セイロン、新西蘭		其他阿弗利加英佛		加 奈 陀	
米 國							
B	A	B	A	B	A	B	A
0	0	0	0	00	00	00	00
1	1	1	1	11	11	11	11
二	三	一	二	一一	一二	一	一
0	0	0	0	0五	00	五五	五0
%	%	%	%	%%	%%	%%	%%

各國輸出額ニ占ムル對日  
依存度五割以下ノ場合

1	1	1	1	11	11	11	11
三	六	三	六	一二	二三	一二	一二
0	0	0	0	五0	00	0五	00
%	%	%	%	%%	%%	%%	%%

對日依存度五割以上



對第三國比率

- 1 蘭領印度
- 2 中南米諸國
- 3 歐洲中立國
- 4 獨逸、伊太利

對日依存五割以下

1 蘭領印度		2 中南米諸國		3 歐洲中立國		4 獨逸、伊太利	
A	B	A	B	A	B	A	B
一五〇一四〇〇%	一〇一三〇〇%	一〇〇一三〇〇%	一〇〇一三〇〇%	一五〇一二〇〇%	一〇一三〇〇%	一五〇一三〇〇%	一〇一三〇〇%

對日依存五割以上

一〇〇一八九〇%	六〇一八〇%	一〇〇一七〇%	五〇一七〇%	一〇〇一六〇%	五〇一六〇%	一〇〇一八〇%	五〇一七〇%
----------	--------	---------	--------	---------	--------	---------	--------

同結果ニツキテハ一括シテ後述セリ。

○、戦争ノ場合

甲、南洋ノ支配權ヲ把握セル場合（南洋圏力完全ナル支配下ニアル場合）

（一）前提

(イ) 世界戦争ノ勃發ト同時ニ對戰相手國トノ直接貿易ハ全商品ニ亘リテ斷絶ス。

(ロ) コノ場合軍需資材ノ海外ヨリノ獲得ハ、一ツニ我カ主體的條件、即チ根幹的ニハ海軍力ノ如何ニヨリテ決ス

(ハ) 當調査ニ於ケル海軍力ノ限界ハ此ノ場合ソノ完備區域ヲ南洋圏ノ範圍ニ止メタリ。

(ニ) 戦時ニアリテモーケ年間ハ少クトモ中立國ヲ媒介トスル中南米及ヒ濠洲、印度トノ貿易ヲ可能トシ、敵國商品タリトモ、中立國船ニヨリテ多少ハ輸入シ得ルモノトセリ。ソノ輸入率ハ、各國各商品ノ輸出總額中ニ占ムル對日依存率及ヒ價格ノ如何ニヨリテ異ルモ、價格ノ騰貴ハ本邦輸入力チ一應考慮外ニ置ク關係上、コレモ

1		
米	加	英、佛本國
國	奈	國
(BA)	(BA)	(BA)
〇	〇	〇
一一五%	一一〇%	一一五%
〇	〇	〇
一一〇%	一一五%	一一五%

對日依存五割以下

對日依存五割以上

㊦ 推定方法

斷交ノ場合ト同シ形式ニテ左ノ如キ比率ニ從ヒテ輸入量ヲ算定セリ。

亦度外視シテ、對日依存率ノミチ基礎トシテ輸入シ得ルモノトセリ。ソノ比率ハ後記ノ如シ。

(㊦) 南洋圈内ノ資源ノ獲保ハ、此ノ圈内ニ存在スル諸國カ暹羅ヲ除ク

外總テ殖民地ナルヲ以テ、之等殖民地ノ土着人ノ排日態度ヲ採ラ

シメサル如キ方法ヲ以テ貿易シ得ルモノトシ、且ツ、國際労働者

運動ニヨル労働者ノ排日等ノ障碍ナク、一應其等ノ地ニ存在シ且

ツ輸出可能ナル資材ハ大略本邦へ輸入シ得ルモノトセリ。

(4ハ占領下ニアルモノト推定)

4		3		2	
佛領印度支那、比律賓	B	英領印度、濠洲、新西蘭	A	埃及、南阿聯邦	A
英領ボルネオ、全馬來	A	ビルマ、セイロン	B	阿弗利加英佛植民地	B
近東植民地					
	ニ〇〇〇以上%		〇一〇%		〇一五%
	九〇以下%		〇一三〇%		〇一五%

對中立國輸入比率

4 獨逸、伊太利	3 歐洲中立國		2 中南米諸國		1 蘭領印度	
	B	A	B	A	B	A
	〇 一 五 %	五 一 〇 %	〇 一 〇 %	一 〇 一 三 〇 %	一 〇 〇 一 以上 %	二 〇 〇 一 以上 %
	一 〇 %	一 〇 %	一 三 〇 %	一 三 〇 %	一 九 〇 %	一 〇 〇 %

乙、南洋ノ制海權ヲ確保セサル場合（基本圈以外ニ勢力ノ及ハサル場合）

□ 前 提

- (イ) 本想定ハ略々最悪ノ場合ニ於ケル輸入量ノ推定ニシテ、我カ海軍力ハ辛シテ、南洋圈タル比律賓、佛領印度支那、英領馬來、（シ  
ンガポール以東）英領ボルネオ等ノ諸港ヲ脅威シ得ル程度トシ、  
且ツ、蘭領印度カ絶對中立ヲ保ツトノ想定ニ立ツモノナリ。
- (ロ) 從ツテ、南洋圈内ノ敵領土ニ於ケル資源ヲ獲得スルコト不可能ノ  
状態ナレトモ、蘭印トハ危険ヲ冒シツツ兎モ角、蘭印自體ノ資源  
ニシテ過去ノ本邦間貿易実績ノ約半額程度ノ物資ノ輸入ハ可能ト  
セリ。
- (ハ) 暹羅ハシンガポール軍港近ク本邦トノ貿易甚々困難ナレトモ、之  
モ危険ヲ冒シテ過去ノ実績ノ半額程度ノ貿易ハ行ヒ得ルモノトス。
- (ニ) 殘サレタル唯一ノ輸入経路ハ中南米トシ、中米ニテハ、メキシコ、  
南米ニテハ、秘露、智利、コロンピヤ、伯刺西爾、亞爾然丁等ト

若干ノ貿易ヲ可能トス。

㊦ 推定方法

(1) 之ハ最悪ノ場合ノ想定ニシテ輸入シ得ル國ハ蘭領印度、暹羅、及

ヒ中南米諸國トス。輸入比率左ノ如シ

(2) 1 蘭領印度 過去三ヶ年輸入実績ノ最高ノ數量ノ一〇〇%以下、

輸出実績ナキ場合ハ、前記Aノ場合ニ於ケル數字ヲ標準トス。

2 暹 羅 右ニ全シ

3 中南米諸國 過去三ヶ年ノ輸入実績ノ最高ノ數量ノ五〇%以下、  
輸出実績ナキトキハ前記Aノ場合ニ於ケル數字ヲ標準トス

㊧ 結果

右ニツキテハ後述ス

D 結果

以上ノ前提ノ下ニ推定ヲ試ミル手段トシテ次ノ諸表ヲ作成セリ。

第一、物資別國別輸入統計表 (別冊)

第三、現狀下物資別國別最大輸入表 (第二十六表)

第三、經濟漸交下物資別國別最大輸入統計表 (第二十六表)

第四、戰時下物資別國別最大輸入統計表 (第二十八表)

〔輸入金額ヨリミタル各推定ノ比較

以上第一表ヨリ第四表マテハ基礎的統計ニシテ九一頁表ハ以上ノ諸表ニ現レタル結果ヲ綜合シタルモノナリ。該表ニハA・B・C  
 甲・〇乙ノ場合ニ於ケル輸入可能量ヲ三十九品目ノ物資別ニ示シ、  
 合セテ之ヲ十四年度物動單價ニテ金額ニ換算スルト共ニマタ各々  
 ノ場合ノ數量ノ増減狀態ヲ數量及ヒ率ヲ以テ明示シタリ。  
 コノ綜合的結果ヲ先ツ資材別輸入金額ノ合計ニツキテミルニ、現  
 狀最大輸入(A)ノ場合ニハ卅九品目ノ輸入額合計ハ一、四六八百萬



圓經濟斷交(B)ノ場合ニ於テハ約五割ヲ減少シ約七六一百萬圓トナル。然ルニ戰爭ノ場合甲ニ於テハ、反對ニ九二三百萬圓ニ増加スルヲ見ルヘキモ、乙ノ場合ニ於テハ、佛領印度支那、比律賓、英領ボルネオ、英領馬來等ノ敵國植民地ヲ占領シタル狀態ノ下ニテ、此等ノ地ヨリ大多數物資ヲ獲得シ、而モ、コノ殆ト外貨ヲ必要トセサル輸入部分ニ對シテモ全様ノ單價ヲ以テ換算シタルタメニ、カクモ大ナル數字カ現レタルモノニシテ、コノコトハ取りモ直サス、此等諸領土ヲ支配スルヲ得ハ、斷交狀態ニ於テ輸入シ得ル物資ノ綜合量ヨリモヨリ多キ物資ヲ獲得シ得ルコトヲ證スルモノナリ。而シテ、試ミニ前記諸植民地ヲ占領シタルモノトシテ、此ノ地ヨリ輸入スル物資ヲ一應金額總計ヨリ除外スレハ、ソノ場合ノ輸入額總計ハ三一〇百萬圓トナル、以テ南洋植民地諸國ノ我國重要輸入品總額ニ占ムル比重ノ極メテ大ナルヲ知ルヘシ。

最後ニ、乙ノ最惡ノ場合ニ於ケル總輸入額ハ九五百萬圓ニシテ之ヲ

經濟斷交下ノ輸入額ニ比スレハ、ソノ僅カ一三%ニ過キサル状態ナリ。

而シテ以上四個ノ場合ニ於ケル輸入總額チ十三年度及ヒ十四年度ノ物動計畫品目中ノ全品目ノ輸入總額ニ比スレハ、左表ノ如ク〇乙ノ場合ニ於テハ十三年度ニ比シ八・一%、十四年度ニ對シ八・五%ノ状態ニ立到ル結果トナルヘシ。

但シ右ノ推定數字ハ輸入品單價ノ變化ニツキテハ考慮外ニオキタルモノニシテ、實際上ニハ歐洲大戰ノ例ニモ見ル如ク、戰爭ノ場合ハ勿論、經濟斷交下ニアリテモ戰爭ヲ見越シタル軍需物資ノ需要急増スルノミナラス、海上保險料モ亦急騰シ、爲メニ輸入品單價ノ騰貴ヲ招クハ明カニシテ、カ、ル場合ノ本邦輸入金額ハ右推定ニヨル輸入金額ニ對シ騰貴率ヲ考慮シタル數字トナルヘキコト云フヲ俟タサルナリ。

重要資源（三十九品）最大輸入可能推定表

	輸入金額 單位千圓	十三年物動ニ 對スル割合	十四年物動ニ 對スル割合
A 現狀下最大輸入額	一、四六八、七二六	一二三・五	一三〇・三
B 經濟斷交下	七六一、四九七	六四・三	六七・五
C 甲戰時下			
(1) 南洋圖占領ノ場合（註）	九二三、六九九	七七・九	八一・九
(2) 右占領下ノ金額ヲ除ク場合	三一〇、五〇一	二六・二	二七・五
C 乙戰時下（最悪ノ場合）	九五、七三四	八・一	八・五

（註一）十三年度同品目輸入總額 一、一八四、六九一、〇〇〇圓

（註二）十四年度 同 一、一二七、三〇二、〇〇〇圓

（註三）C(1)ノ場合ハ占領下領土ヨリノ輸入量ヲモ金額トシテ含メ

ルモノ



(2) BトC甲ノ比較

次ニ經濟斷交下輸入量ニ對スル戰時下輸入量（C甲）ノ比較ニ於テハ前回ノ比較ニ比シテ著シキ減少率ノ高度化ヲ見ルヘシ。

銅	銅	鉛	ニ	コ	鋼	ア	ニ	特	螢	普	水	
鑛	鑛		ツ	バ		ン	ツ	殊		通	銀	
			ケ	ル	塊	チ	ケ	鋼	石	鋼		
			ル	ト		モ	ル	々	々	々		
						ン	鑛	材	材	材		
五	六	八	九	九	九	九	九	九	九	九	九	
八	六	九	二	二	二	三	七	七	八	八	九	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	%
三	八	四	一	二	六	一	一	九	一	五	二	
屑	鉛	ワ	普	雲	亞	原	亞	モ	フ	石		
		ナ	通	母	鉛	油	鉛	リ	エ	綿		
		ジ	銑	母	鉛	油	鑛	ブ	ロ			
		ウ	鑛	銑	鉛	油	鑛	デ	ア			
		ム		鑛	鉛	油	鑛	ン	ロ			
					鉛	油	鑛	鑛	イ			
五	六	六	七	七	七	五	七	七	八	八		
六	九	九	一	一	三	〇	六	九	六	八		
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	%	
四	六	七	三	四	〇	六	四	五	〇	四		

即チ先ノA對Bノ比較ニ於テハ四〇%減以上ノモノ十八品目ナリ  
 シニ比シ、B對C甲ノ比較ニ於テハ五〇%減以上ノモノニシテ既  
 ニ二十三品目ニ達スル著シキ減少ヲ示セリ。然ルニ第五表中ノB  
 對C甲ノ比ニ於テ反ツテ増加シタルモノアリ、之等ハC甲ノ場合  
 ニハ佛印、比律賓、英領馬來、英領ボルネオ等ヲ占領狀態ニオキ、  
 蘭印及ヒ暹羅ニ對シテ本邦輸入貿易ニ關シ絕對支配權ヲ獲得シタ  
 ルトノ想定ノ下ニ推定ヲ試ミタル爲メニシテ、該物資ノ増加率ハ  
 次ノ如キモノナリ。

鐵 礦 石	六 一 二 ． 八	%
ク ロ ム 礦	一 八 一 ． 一	
揮 發 油	一 五 八 ． 四	
錫	一 五 〇 ． 〇	
ア ン チ モ ン 礦	一 三 六 ． 七	
ボ ー キ サ イ ト	八 九 ． 四	

重油	三六・九
燈油	三五・一

(3) BトC乙トノ比較

次ニ最悪ノ場合タルC乙トBトノ比較ニ於テハ左ノ如ク全品目ニ亘リテ激減セリ。

(1) 一〇〇%減(輸入ナキモノ)十二品目

普通鋼材	銅
鋼塊	白金
普通銑	ニツケル
特殊鋼塊	コバルト
フエロアロイ	アルミニウム
クロム鑽	石綿

(4) 以下減少率順ニ列記ス

以上ノ如ク三十九品目中三十六品目ハ五〇%以上ノ減少ヲ示セリ。

アンチモン	生ゴム	ワナジウム	鐵鑛石	機被油	モリブテン	鉛鑛	亞鉛	アンチモン	銅	ニツケル鑛	螢石	タングステン	水銀
五〇・〇	五八・三	六九・七	九〇・四	九一・五	九二・〇	九三・一	九五・七	九六・六	九七・六	九八・七	九九・〇	九九・二	九九・四
			ボーキサイト	重揮發油	鉛油	亞鉛鑛	雲母	錫油	燈油	鹽	マンガン鑛	屑鐵	原油
			三九・四	五八・九	七四・二	七四・七	八二・九	八二・九	八七・一	八七・四	八八・〇	八九・二	八九・三



物資別輸入推定比較表

(註) 輸入金額中(C甲)(-)ハ南洋羣島に關する輸入に得た場合の輸入金額

A C甲(二)ハレヨリ廣印以外)植民地分(占領地外)ヲ金額ニ於テ除外シタルモ

—91—

	輸 入 数 量				輸 入 数 量 比 較						輸 入 金 額				
	A)場合	B)場合	C甲)場合	C乙)場合	A對B	増減率	C甲對B	増減率	C乙對B	増減率	A	B	C甲(-)註	C甲(二)	C乙
普通鋼(材)	249400	130500	1900	0	-118900	-477	-128600	-98.5	130500	-100.0	49880000	26100000	380000	380000	0
鋼 卷(一)	271400	168500	12400	0	-102900	-379	-156100	-57.6	168500	-100.0	40710000	25275000	1860000	1860000	0
普通鉄(一)	144090	665200	118900	0	-478890	-419	-546300	-71.3	665200	-100.0	85806750	49890000	8907500	8907500	0
屑 鉄(一)	290535	524000	228650	56000	-186635	-78.1	-295350	-56.4	468000	-89.3	198663405	40388370	18977950	12259300	4648000
鉄 石(一)	5471635	364790	2600200	35000	-5106845	-93.3	-2235410	-41.8	329790	-90.4	125348456	5090170	59804600	2040100	905000
特殊鋼(材)	25360	22350	460	0	-3010	-11.9	-21890	-9.9	22350	-100.0	43137360	38017350	782460	782460	0
フェロアロイ(一)	2630	2500	350	0	-130	-4.9	-2150	-86.0	2500	-100.0	6948460	6605000	924700	924700	0
マンガン 錠(一)	286908	175600	117350	19000	-111308	-38.8	-58250	-20.3	156600	-89.2	20083560	12292000	8214500	4420500	1370000
タングステン 錠(一)	6494	4810	3470	40	-1684	-25.9	-1340	-20.9	4770	-99.2	25326600	18759000	12583000	4680000	156000
モリブデン 錠(一)	1980	1610	330	125	-370	-18.6	-1280	-79.5	1485	-92.0	7128000	5796000	1188000	1188000	450000
ワナツウム 錠(一)	260	660	200	200	-200	-23.3	460	69.7	460	-59.7	8500000	6600000	2000000	2000000	2000000
ニッケル 錠(一)	47800	15200	440	200	-32600	-68.2	-14760	-97.1	15000	-98.7	2590000	760000	22000	12000	10000
クロム 錠(一)	47800	24900	70000	0	-22900	-47.9	45100	94.1	24900	-100.0	3343000	1443000	890000	0	0
銅 (一)	126340	54120	17980	1300	-72220	-57.2	-35140	-66.5	-52820	-97.6	107389000	46302000	15283000	8228000	1105000
銅 錠(一)	148300	71900	29970	0	-76900	-51.7	-41930	-58.3	-71900	-100.0	37210000	17995000	7492500	4887500	0
白 金(時)	1036	210	21	0	-826	-79.7	-159	-30.0	210	-100.0	5180000	1080000	100500	100500	0
鉛 (時)	127160	69170	21060	17500	-67970	-49.6	-48110	-69.6	-51670	-74.7	38404300	19367000	8896800	5868800	4000000
鉛 錠(一)	22730	17550	1860	1210	-5180	-23.7	-15340	-67.4	-16340	-93.1	2526800	2368000	290600	291200	192600
亜 鉛(一)	86650	34800	9390	1500	-51350	-59.3	-23410	-73.0	-33300	-75.7	29430500	11284000	2098200	917300	495000
亜 鉛 錠(一)	42900	24200	5700	4300	-17700	-46.8	-12300	-76.4	-19900	-82.2	4609000	2541000	598300	598500	451500
錫 (一)	11100	7000	112000	0	-4120	-36.9	-10500	-180.0	6100	-87.1	41625000	25250000	42000000	75000000	383000
ニッケル(時)	14300	7450	730	0	-6550	-47.9	-6720	-90.2	7450	-100.0	44830000	22095000	2265000	2265000	0
アンチモン(時)	620	580	40	20	-40	-6.5	-540	-97.1	560	-71.6	500000	221000	38000	38000	19000
アンチモン 錠(一)	6000	600	1420	300	-5400	-90.0	-820	-136.7	300	-50.0	2400000	220000	568200	120000	20000
水 銀(錠)	544720	541400	4100	3000	-3320	-2.6	-385300	-99.2	-438400	-99.4	4361760	4371200	32800	32800	24000
コバルト(錠)	660	425	33	0	-235	-35.6	-392	-92.3	425	-101.1	726000	267000	363000	363000	0
ホルニウム(一)	27377	25100	2300	0	-2277	-8.3	-22800	-90.8	25100	-100.0	44337600	25180000	4140000	4140000	0
ホーキヤイト(一)	174000	132000	230000	80000	-22000	-24.1	-118000	-67.4	-57000	-37.4	5220000	3950000	7500000	660000	2400000
重 石(一)	15600	10300	200	100	-5300	-34.0	-10100	-78.1	10200	-99.0	1528000	1009400	19800	19800	9800
石 膏(一)	42000	13800	1600	0	-28200	-67.1	-12200	-88.4	-13800	-100.0	9660000	2174000	368000	368000	0
炭 母(一)	890	50	100	60	-540	-60.7	-250	-91.4	290	-82.9	3115000	1223000	350000	350000	210000
炭 母(時)	3500000	2153000	1065400	249000	-1047000	-32.5	-1096000	-50.6	-1904000	-83.4	192500000	118415000	58599000	47597000	13695000
糖 糖(時)	432000	387000	1000000	100000	-46000	-10.7	613000	138.4	-287000	-74.2	32400000	29175000	75000000	75000000	23000000
糖 糖(一)	146000	111000	500000	140000	-58000	-24.0	389000	35.1	-97000	-67.4	11388000	8658000	59000000	1092000	1092000
重 油(一)	500	0	0	0	-500	-100.0	0	0	0	0	35000	0	0	0	0
重 油(時)	202000	1460000	2000000	600000	-560000	-27.7	-540000	-31.9	-860000	-50.9	85850000	63050000	90000000	69750000	25500000
機 油(一)	81510	35400	22660	3000	-46110	-56.6	-12740	-36.0	-32400	-91.5	25431120	11044800	7069920	7069920	936000
煤 (時)	1054500	490000	301000	59000	-564500	-53.5	-189000	-19.1	-431000	-89.0	16052500	11200000	6923000	1863000	1357000
生 油(一)	72080	48000	44000	20000	-24080	-33.4	-4300	-8.3	-28000	-50.3	93875000	62400000	57200000	26000000	26000000
三ヶ品金額計											1468725970	761496890	(923699130)	310500680	95733900
十三年第三國輸入總計	(2272170000)										646	335	(401)	137	42
十三年 炭物動向品金額計	(1184691000)										123.9	643	(779)	26.2	8.1
十四年 炭物動向品目計	(1127302000)										130.3	675	(81.9)	27.5	8.5

三 物資別輸入ノ對外依存度

(1) 英米佛ソニ對スル依存關係

次ニ我國重要輸入資材卅九品ノ對外依存狀況ノ推移ヲ數量指數ニヨリテ各ノ場合ニ分チテ示スヘシ。次表(A、B、C)ニ據レハ英米佛ソ及其ノ殖民地ノ本邦輸入額ノ中ニ占ムル地位ハ、卅九品ニ於ケル比重ノ平均指數(金額換算指數)ニ於テAノ場合七〇・七%、Bノ場合二一・三%、C甲ノ場合二・九%ノ如ク漸次低下シ、C乙ノ場合ハ全然依存セサル狀態ニ達ス。尤モC乙ノ場合ノ南洋圈內ニハ占領ヲ想定セル佛印、比律賓、英領馬來、英領ボルネオヲ含ムモノニシテ之等ハ南洋圈內ノ約四〇%ヲ占ムヘシ。

(2) 中立國ニ對スル依存關係

次ニ第三國或ハ中立國ニ對スル依存關係ヲ見ルニ、Aノ場合ニ於テハ二九・三%ナルモBノ場合ニ於テハ七八・七%ニ増大シ戰時



平生平均指數	鹽	蠶絲	燈	揮	原	雲	石	蠶	ボ	アル	コ	水	ア	ア	ニ	鋤	亞	亞	鉛	鉛	白	銅	銅	ク	ニ	ワ	モ	タ	マ	フ	特	鐵	屑	普	鋼	普			
數ム	概	油	油	油	油	油	母	綿	石	ト	ム	ト	銀	鑽	ン	ケ	ル	鑽	鉛	鑽	金	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽	鑽
二	二	一	〇	一	二	二	二	七	六	三	二	〇	〇	〇	一	一	二	四	一	六	一	六	三	五	八	三	五	〇	一	〇	一	三	四	五	六	一	一		
一	〇	一	〇	一	七	八	九	七	六	三	二	〇	〇	〇	八	二	三	七	九	二	九	八	八	一	八	〇	一	〇	三	〇	九	二	四	一	七	五	三		
三	〇	〇	〇	〇	六	九	六	〇	八	一	四	〇	〇	〇	六	〇	四	五	九	四	九	二	七	〇	八	〇	一	〇	三	〇	九	二	四	一	七	五	三		
七	〇	〇	七	八	八	七	七	九	九	八	七	〇	〇	〇	八	〇	八	七	九	五	九	八	〇	三	〇	九	六	四	〇	九	八	六	四	三	八	三	八		
八	〇	〇	九	九	八	七	七	九	九	八	七	〇	〇	〇	三	〇	七	二	〇	七	〇	一	〇	八	〇	一	三	八	〇	九	八	六	四	三	八	三			
七	〇	〇	六	〇	〇	〇	四	一	四	〇	二	九	九	六	〇	〇	〇	二	〇	六	五	一	六	一	八	三	〇	二	〇	九	〇	七	〇	一	八	六	七		
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		

(B) 經濟斷交下最大輸入量ヲ一〇〇トスル指數

斷交國依存度

中立國依存度

輸入總額



○甲ノ場合ニ於テハ六・三%（尙ホコレニハ南洋圈内ノ蘭印及暹羅ヲ含マス）○乙ノ場合ハ二二・八%ニシテ、コノ最後ノ場合ニ尙ホ二二・八%ヲ中立國ニ依存セル状態ニアルコト、並ニ中立國ノ内容ハ蘭印、暹羅ヲ除ケハ總テ中南米諸國ナルハ特ニ注意スヘキ點ナルヘシ。

#### 四 結論

以上調査シタル結果ニ基キテ、一應ノ結論ヲ概括的ニ述フルニ經濟斷交下及戰時ニ於ケル重要軍需資材ノ輸入限度ハ九一頁ノ結果ニ到達シタルモノニシテ、此等ヲ本年度物動資材中ノ同品目ノ輸入總金額ニ對比スレハ、經濟斷交下ニアリテハ六七・五%、戰時甲ニ於テハ八一・九%、同乙ハ八・五%ニシテ、戰時乙ノ場合ヲ除ケハ大体恐ルルニ足ラサル結果ナルヲ知ルヘク、戰時乙ノ場合ハ想像シ得ル範圍ニ於テ最惡ナル戰局ニシテ、此ノ場合ハ殆ト總ユル需要ヲ大陸ニ依存スヘキ事態ナリト云フヘシ。

蓋シ實際ニハ〇甲ト〇乙トノ中間ニハ種々ノ異リタル状態ノ存在スルハ明カニシテ寧ロ〇乙ノ如キ事態ハ假定的最悪限度ヲ示セルニ止マルモノナリ。

次ニ經濟斷交下及ヒ戰時ニ於ケル本邦輸入相手國ハ主トシテ蘭印、暹羅及中南米諸國ニシテコレヲ資材別ニ見レハ蘭印ハ石油類、生ゴム及ボーキサイト等我カ國需要量ノ百分ヲ輸入シ得ヘク、暹羅ハタングステン鑛、錫、鹽等若干、又中南米ハ鉛、亞鉛、マンガン、ニツケル、ワナジウム、銅、タングステン、モリブデン等ノ非鐵金屬ノ供給地ナリ。

右ノ事情ヲ考慮スルトキハ、此等ノ諸國トノ友交關係ノ補強ニ力メ戰時ニ於テハ排日等ノ不利ナ情勢ヲ招カサルヤウ、現時ニ於テ適切ナル貿易關係ヲ確立シオク必要アルヘキモノト信ス。

(附)

經濟斷交及戰時ヲ豫想セル見越輸入ニ就テ

以上觀タル如クB及Cノ場合ノ輸入量ハ十四年度物動輸入量ニ比シテ相當ノ減退ヲ招ク結果トナリシモ、斯ル場合ヲ豫想シテ豫メ見越輸入ヲ行フヘキ必要アルハ云フヲ俟タス依テ之カ推定ヲ試ミタルモノ次表ノ如シ。該表作成ニ當リテハ各資材間ノ隘路是正ノ必要アルヘキモ、在庫高二據ルヘキ數字ナキノミナラス、時間的ニ急キタル爲メ此點ハ今後ノ研究ニ俟ツコトトシ、此處ニハ各資材ニ亘リ一定ノ割合ヲ維持スル方針ヲトレリ。即チBノ場合ニハA十四年ノ各資材ノ供給量ノ八〇%（戰爭ノ場合ハ七〇%、六〇%モ算出）ヲ維持スヘキ限度ト見做シ、B（及C）ノ場合ノA十四年ニ對スル比率ニシテ八〇%ニ充タサル分ノミヲ不足分トシテ之カ見越輸入ヲ行フコトトヒリ。

右ノ結果ヲ次表ニツキテ觀レハ、Bノ場合ノ見越輸入額ハ約二億三千六百萬圓（工作機械及自動車部分品ヲ除ケハ一億一千四百萬圓）トナリ、尙ホ試ミニ十四年度ニ對シ百%ノ輸入ヲ獲得スヘキモノトスレハ七億六千萬圓ナリ。



次ニ〇甲ノ場合ノ見越輸入ハ二億八千萬圓、〇乙ノ場合ニハ四億二千萬圓、自動車及工作機械ヲ除ケハ、ソレソレ一億六千萬圓、二億九千萬圓ナリ。然シテ經濟斷交或ハ戦争カ二年ニ亘リテ繼續スル場合ハ何レモ右ノ二倍ノ見越輸入ヲ必要トスヘキナリ。

(終)

經濟斷文ヲ豫想セル場合ノ推定見越輸入表

品目	單位	A 14年	B 15年	対14年比率	△80%	全数量	全金額	備考
普通鋼	材	6255,000	5,492,500	87.0%			+	A 14年 B 15年ノ欄ノ数字ハ供給総額(産量ノ部参照)ナリ △15年供給額ヲ14供給額ノ80%マテ維持セントスル場合ニ 不足セル比率 ※工作機械自動車見越輸入額ヲ除ク ×原油ハ100%マテ維持スルモノトス 註尚不完全資材ヲ100%マテ維持スル爲メニハ762,800千円 工作機械及自動車ヲ除ク場合ハ570,082千円ナリ 註鉄輸入ハ採算上不利ナルヲ×製品トシテ輸入ス
鋼	塊	7507,000	6,636,300	88.4				
普通	鉄	4755,000	6,289,200	132.3				
厚板	鉄	4984,000	3,098,600	62.6	17.4	367,216	71,979	
鉄板	石	2726,000	2,755,000	126.3				
特殊鋼	材	364,000	414,350	113.8				
アエロフロ	イ	141,000	170,500	120.9				
マンガ	鉄	381,000	336,600	88.3				
クロム	鉄	915,000	92,900	10.15				
タングステン	鉄	1,020,000	1,001,000	98.1				
モリブデン	鉄	254,000	219,000	86.1				
ニッケ	ル	112,800	1,059,000	93.9				
鉛		266,600	1,975,200	74.1	5.9	1,372.9	13,370	
錫		118,700	1,075,700	90.6				
豆	鉄	103,200	1,143,400	110.8				
錫		12,780	9,720	76.1	2.9	498	1,866	
マンガン	ン	2,960	1,186	40.1	39.9	1,181	1,122	
水	銀	612,000	571,400	94.3				
ニッケル	ル	55,600	66,700	120.0				
水	ト	143,600	230,500	160.5				
燧石	石	585,000	68,500	11.68				
石	綿	37,400	21,300	57.0	23.0	860.2	1,978	
雲母	瓦	995	950	96.0				
炭	油	3,028,000	2,603,000	86.0	X 14.0	423,920	23,316	
工業	煙	1750,000	1,625,000	92.9				
生	機	62,500	55,100	88.2				
工	車	335,398	160,000	47.7	32.3	—	108,398	
白	車	17,200	—	—	80.0	—	13,760	
總	計						235,719 *13,633	

戦後予想セル場合、推定見越輸入表 (一)

△%、14年供給額180%確保以下、赤字、不足比率

\* 工業機械及自動車見越輸入額を除く

品目	単位	A 14年	C 15年	対14年比率	△80%	全数量	全金額	70%	全数量	全金額	60%	全数量	全金額
							十円			十円			十円
普通鋼	×材	6255000	5244000	80.6%									
鋼塊	ト	7507000	6305000	84.0									
普通鉄	ト	2755000	5761500	120.2									
錳鉄	ト	4984000	2132210	63.3	16.7	826316	68380	6.7	333928	21716			
鉄鉱石	ト	7726000	9746000	126.1									
特殊鋼	×材	364000	392600	107.7									
フエロマロイ	ト	141000	168000	119.1									
マンガン	ト	581000	180000	47.2	32.8	125730	8801	22.8	86868	6081	12.8	48758	3414
クロム	ト	91500	68000	74.3	5.7	5216	365						
ダングステン	ト	10200	5240	51.4	28.6	3719	11774	18.6	1897	7398	36	177	3420
モリブデン	ト	2545	705	27.5	52.3	1374	7947	42.3	1077	3877	32.3	422	2959
ニッケル	ト	11280	3100	27.5	52.5	5732	17768	42.5	4994	14861	32.5	3666	11365
銅	ト	266600	146600	54.7	21.3	56786	48268	11.3	30126	25507	1.3	2466	2946
鉛	ト	118700	57720	48.5	31.4	34000	9520	21.4	25401	4118	11.4	1352	2789
亜鉛	ト	103200	97690	95.3	4.7	5160	1703						
錫	ト	12780	3650	28.6	51.4	6640	24900	41.4	5271	17841	11.4	4013	15049
マンモ	ト	2960	470	16.0	64.0	1885	1791	54.0	1098	1318	44.0	1392	1237
水銀	ト	612000	39000	6.4	43.6	450032	2604	63.6	401472	3212	63.6	42272	2722
アルミニウム	ト	55600	44300	79.7	2.3								
ホーキサイト	ト	143600	230500	160.5									
炭	ト	53500	58100	99.3									
石炭	ト	57400	7500	20.1	59.9	22066	3075	49.9	18663	4292	29.9	14920	3182
炭母	ト	995	660	66.3	12.7	136	476	2.7	25	130			
原油	ト	3028000	1399000	46.2	32.8	1023464	46291	23.8	220664	36035	13.8	47864	22783
工業用	ト	1750000	1325000	75.7									
生油	ト	62500	26100	41.8	38.2	23895	31037	28.2	11625	22913	18.2	11375	14488
工業機械	十円	335598	160000	47.7	32.3		108398	22.3		74838	12.3		41274
自動車	ト	△ 17200			80.0		13760	70.0		12040	60.0		10320
總計							417039 *294901			267470 *180592			139703 *88104

戦争ノ豫想セル場合ノ推定見越輸入表

品名	単位	A 14年	C 甲 15年	対14年比率	80%	余数	金額
普通鋼	噸	6255000	5253180	840			
鋼	噸	2507000	6564100	874			
普通	噸	4755000	5835400	1227			
番	噸	4994000	3304860	668	12.2	657888	54605
鉄	石	4726000	9759000	1263			
特殊鋼	噸	364000	392460	1078			
フェロ	噸	141000	168350	1194			
マンガン	噸	381000	278350	731	6.9	26289	1840
シロ	噸	91500	138000	150.8			
タングステン	噸	10200	8670	85.0			
モリブデン	噸	2545	910	35.8	44.2	1125	4050
ニッケル	噸	11280	3846	34.1	45.9	5178	16052
錫	噸	266600	181075	67.9	12.1	32259	27420
鉛	噸	118700	61610	51.9	28.1	33355	9339
亜鉛	噸	103200	86300	83.6			
錳	噸	12780	11250	88.0			
マン	噸	2960	1065	36.0	44.0	1302	1237
水	噸	612000	40100	6.6	73.4	449208	2594
アルミニウム	噸	55600	44300	79.7	0.3	16.680	30.024
ホー	噸	142600	339000	250.0			
炭	石	58500	58200	99.5			
石灰	石	37400	9100	24.3	55.7	20832	4791
石油	石	995	700	70.4	9.6	96	336
工業	石	5028000	2215400	73.2	6.8	205904	11325
工業	石	1750000	1526000	87.2			
生	石	62500	50100	80.2			
工	石	335598	160000	47.7	32.3		108398
自	石	17200			80.0		13760
計							* 382673

本邦貿易外收支豫想

(一) 現状推移ノ場合

本邦貿易外收支ノ内容ヲ先ツ圓ブロツク關係（滿洲國竝ニ北支那）ト第三國關係トニ大別スルニ、利用シ得ヘキ最近ノ資料トシテ、昭和十一年ニ於ケル本邦貿易外收支ノ實績ト、同年ニ於ケル滿洲國貿易外收支ノ實績トヲ相互ニ睨ミ合セツツ、且對北支關係ヲモ考慮スル時ハ、本邦貿易外受取勘定ニ於テ圓ブロツクノ占ムル割合ハ約三三%、從ツテ第三國ノソレハ六七%、又支拂勘定ニ於テハ圓ブロツクハ四七%、從ツテ第三國ハ五三%ヲ占ムルモノト推定スルコトヲ得。圓ブロツク内ノ政治的經濟的諸關係ノ一層ノ強化、就中支那事變ヲ契機トスル對滿北支貿易竝ニ産業關係ノ一層ノ緊密化、其他我カ大陸活動ノ一般的旺盛化ニ伴ツテ、貿易外勘定ニ於テ圓ブロツクノ占ムル比率カ收支共ニ連年増加ヲ示シ、若クハ増加ヲ示スナランコトハ想像ニ難カラズ。尤モ事業利益放資回收等ニ於ケル我カ對圓ブロツク債權回收額ニ比シ

IMT 466

144

産業開發其他ニ對スル我カ新投資額ハ、連年巨額ニ上ラザルヲ得サル事情ニ在ルヲ以テ、全體トシテノ我カ對圓プロツク關係ハ、常ニ多額ノ支拂超過ヲ辿ルモノト推定セサルヲ得ス。

他方ニ於テ對第三國關係ハ、海外不況ノ立直リ未タ十分ナラサルト、事變ヲ契機トスル第三國ノ對日關係ノ惡化ノ結果トシテ、第三國ニ對スル貿易外收支ハ全體的ニハ萎縮スヘク、殊ニ證券利拂、國債償還等ノ對外債務ノ支拂ハ殆ト縮減ノ餘地無キニ反シ、海運收入、觀光收入等從來貿易外收入ノ大宗タリシ諸項目ノ減收甚シカルヘキコトカ豫測セラルルヲ以テ、事變前ニ於ケル對第三國受取超過ノ傾向ハ、既ニ支拂超過ニ逆轉シタルモノト推定シ得ヘク、今後ニ於テハ寧ロ支拂超過額ノ増大ヲ懸念セサルヲ得サルヘシ。

今昭和十一年ニ於ケル本邦貿易外收支表ヲ基礎トシ、昭和十一年及ヒ十二年ノ滿洲國國際收支表ヲ參考トシテ、昭和十二年以降昭和十五年ニ至ル各場合ニ於ケル本邦貿易外收支ノ概況ヲ推定スルニ「本邦貿

易外收支推定表」(一)及(二)参照)、現状推移ノ場合各年ノ貿易  
外受取總額中ニ於ケル我カ對圓ブロック受取額ハ、昭和十一年ノ三三  
%ヨリ十二年ノ三五%、十三年ノ四一%、十四年ノ四九%、十五年ノ  
五四%ヘト連年ソノ比率ヲ増加シ、對圓ブロック支拂額ノ各年ノ支拂  
總額ニ對スル割合モ亦、十一年以降四七、五〇、五六、六一、六五%  
ト連年増加セルコトヲ見出スニ反シ、各年ノ受取勘定中ニ於ケル對第  
三國受取額ハ、昭和十一年以降六七%、六五%、五九%、五一%、四  
六%ト連年ソノ比率ヲ減少シ、對第三國支拂額モ亦五三、五〇、四四、  
三九、三五%ト連年ソノ割合ヲ減少セルコトヲ知り得ルナリ。  
又圓ブロックニ對スル支拂超過額ハ昭和十二年ハ十一年ニ對シ二〇%、  
十三年ハ十二年ニ對シ一一二%、十四年ハ十三年ニ對シ二八%、十五  
年ハ十四年ニ對シ一五%ヲ夫々増加セルコトヲ知り得。  
之ニ對シテ第三國ニ對スル受取超過額ハ昭和十二年ハ前年ニ對シ六三  
%減少ヲ示シ、十三年以降ハ却テ支拂超過ニ轉シ、而モ十四年、十五

年ハ前年ニ對シ夫々五〇%及ヒ六八%ノ支拂超過増ヲ見ルモノト豫想セラルルナリ。

斯クテ昭和十一年及ヒ十二年ハ第三國ヨリ夫々二億六百七十二萬圓及ヒ七千五百萬圓ノ受取超過ヲ見タルモノト推定シ得ラルルカ、十三年ヨリ十五年ニ至ル各年ニ於テハ、夫々一億九千九百萬圓、二億九千九百萬圓、三億三千六百萬圓程度ノ支拂超過ヲ豫想セサルヲ得サル狀況ナリ。

斯クシテ貿易外收支中ニ於テ占ムル第三國ノ地位ノ相對的低下ノ結果トシテ、對第三國貿易外勘定ハ、收支共ニソノ絶對額ヲ連年減少シ、又圓プロツクニ對スル支拂超過ノ増大傾向ト第三國ヨリノ受取超過ノ減少乃至ソノ支拂超過ヘノ逆轉傾向ハ、結局全體トシテノ本邦貿易外收支ノ内容ヲ漸次惡化セシムルモノト推定セサルヲ得サル次第ナリ。

(二) 經濟斷交ノ場合

經濟斷交カ武器其他特定軍需品ノ輸出禁止ノ範圍ニ止リ、且非斷交國



ノ利用其他諸般ノ對策適正ヲ得ルモノト假定スレハ、本邦ノ對圓プロツク活動ハ之ニヨツテ大シテ制肘ヲ受クルコトハ無カルヘク、從ツテソノ貿易外收支モ、現状推移ノ場合ト甚シクハ異ルコト無カルヘシ。然シ乍ラ對第三國關係ニ於テハ、斷交國トノ從來ノ經濟關係其他ニ鑑ミ、ソノ貿易外收支ハ相當ノ影響ヲ受クヘク、項目ニヨリテハ最善ノ場合ト雖モ現状推移ノ場合ノ二割乃至三割ノ減少（海運、保險收入等）最悪ノ場合ハ五割乃至六割ノ減少（觀光收入等）ヲ見ルヘク、結局貿易外勘定ハ一億三千萬圓程度ノ支拂超過ヲ豫想セラルヘシ。（「本邦貿易外收支推定表」(三)参照)

尤モ經濟斷交ノ場合、外債ノ元利支拂其他ノ支拂ヲ停止スルノ政策ニ出ツルナラハ、貿易外支拂ハ殆ト全額減少ヲ見、從ツテ又ソレタケ輸入能力ヲ増強スルモノト考フルコトヲ得。

（三）戰爭ノ場合

反防共黨暴徒トノ戰爭ノ場合ハ、交戰期間ノ物資並ニ資本ノ移動ハモ

トヨリ國民相互間ノ往來モ亦當然殆ト停頓狀態ニ陥ルカ故ニ、對第三國貿易外收支ハ、各項目トモ自然受拂皆無ノ狀態トナルヘク、唯中立國トノ貿易ノ積極化、制海權確保ノ下ニ於ケル對南洋貿易ノ維持等ヲ想定スル時ハ、海運關係ニ於テ或ハ若干ノ受拂ヲ豫想シ得ラレンモ、全般的ニハ對第三國貿易外收支ハ殆ト皆無ニ歸スルモノト謂ヒ得ヘシ。(「本邦貿易外收支推定表」(三)及(四)參照)此場合モ亦經濟斷交ノ場合ト同シク、外債ノ元利支拂停止ニヨル現送金額ノ節約力輸入能力ノ補強ニ貢獻スルモノト知ルヘシ。

#### 滿洲國國際收支豫想

昭和十一年及ヒ十二年ニ於ケル滿洲國ノ對第三國貿易勘定ハ夫々七千萬圓程度ノ受取超過ナルカ、對第三國貿易外收支ニ於テ、各年トモ貿易出超ト殆ト同程度ノ支拂超過ヲ推定シ得ラルルヲ以テ、滿洲國ノ國際收支(圓プロツクヲ除ク)ハ大體ニ於テ均衡ヲ維持シタルモノト見ルコトヲ得。而シテ今後ト雖モ貿易及貿易外收支ニ關スル國家的統制ハ、一層強

化セラルヘキ事情ニ在ルカ故ニ、滿洲國國際收支ハ今後ノ各場ニ於テ何レモ均衡ヲ得ルモノト推定シテ差支無カルヘシ。

#### 北支那國際收支豫想

現地某機關ノ調査ニ依レハ、昭和十年以降十二年ニ至ル三ヶ年間ニ於ケル北支那國際收支ノ年平均額ハ、圓プロツクヲ除ク場合、中南支ヲ除ク第三國ヨリノ受取超過ハ約一億圓ニ達スルカ、中南支ニ對スル支拂超過カ同シク約一億圓ニ上ルカ故ニ、彼此相殺スル時ハ、結局北支那國際收支ハ略均衡ヲ得タルモノト謂フコトヲ得。尤モ昨年來對第三國貿易ハ入超傾向ヲ示シツツアリ、且ツ貿易外收入ノ増加等ハ當分期待スルゴト能ハサルヲ以テ今後ハ中南支ヲ含メタル對第三國國際收支關係ハ寧ロ惡化ノ傾向ヲ迫ルモノト思料セラル。然シ乍ラ貿易及貿易外收支ニ對スル政府ノ統制ハ之ニヨリテ一層強化スルモノト考ヘラルルニヨリ、國際收支ハ今後トモ各場ニ於テ大體從前通り均衡ヲ得ルモノト推定シテ差支無カルヘシ。(斷交並ニ戰爭ノ場合中南支ヲ圓プロツクニ包含スル場合ト雖

モ全支ノ對第三國國際收支ハ大體ニ於テ均衡ヲ維持スルモノト見テ差支無カルヘク、政策的ニハ寧ロ萬難ヲ排シテ均衡維持ニ努力スルモノト思料セララル。

本邦輸入能力推定

本年以降各年各場合ニ於ケル本邦輸入能力ヲ推定センカ爲ニハ、以上ニ於テ考察シタル本邦貿易竝ニ貿易外收支、滿洲國及ヒ北支那（經濟斷交以下ノ場合ハ支那全部）國際收支ノ外ニ、更ニ圓プロツクニ於ケル産金狀況ヲ考慮セサルヘカラス。

昨年度ニ於ケル圓プロツク内新産金額ハ本邦約二億圓、滿洲國一千二百萬圓、合計二億一千二百萬圓ニシテ（北支ハ新産金無カリシモノト推定）、時局下ニ於ケル産金事業ノ重要性ニ鑑ミル時ハ、本年度ハ最小限度二億三千四、五百萬圓ニ上ルモノト推定シ得ヘク、又明年度ハ二億四千萬圓程度ニ増産、經濟斷交竝ニ戰爭ノ場合ニモ、萬難ヲ排シテ明年度水準即ち千産二億四千萬圓ヲ維持スルモノト推定スルコトハ必スシモ不當ナラ

サルヘシ。然ル時ハ本年以降各年各場合ニ於ケル本邦輸入能力ハ後掲

「本邦輸入能力推定」表ニ掲ケタルカ如シ。

尙右ノ輸出代り金及ヒ新産金ノ外、更ニ輸入能力ノ増強ニ資スルモノトシテハ、民間退藏金銀竝ニ日本銀行準備金ノ動員及對外クレヂツトノ利用等ヲ考慮スルコトヲ得。

本邦民間退藏金ハ昭和十三年以降三ヶ年間ニ略一億八千萬圓ヲ回収シ得ルモノト推定セラルルカ（毎年約六千萬圓）、回収金及クレヂツト等ノ中若干部分ハ既ニ本年中ニ於テ使用セラルルモノト考ヘラルルニヨリ、來年以降ノ繰上輸入其他ニ充當シ得ラルル額ハソレタケ縮減スルモノト豫想セラル。

本邦輸入能力推定（單位千圓、△印支拂超過）

輸出貿易	現狀推移ノ場合		斷交ノ場合		戰爭ノ場合	
	昭和十四年	昭和十五年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十五年	昭和十六年
輸出貿易	一七六、五二五〇	一八九〇、三〇五	一、一三五、七九二	一、三〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、二七六、一〇〇
貿易統計上ノ誤差訂正（七%）	一、二三三、六七	一、三三三、一一	七九五、〇五	一、三三三、三三	一、三三三、三三	一、二八二、八一
計	一八八、八八一七	二〇二、三六二六	一、二一五、二九七	一、五三三、三三三	一、五三三、三三三	一、四九七、〇三三
貿易外收支	△二九、九〇〇〇	△三三、六〇〇〇	△三三、〇〇〇	△三三、〇〇〇	△三三、〇〇〇	△三三、〇〇〇
滿洲北支國際收支	1	1	1	11	11	11
新産金	二三四、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇
總計	一八二、三八一七	一九二、六六二六	一、三二二、二九七	一、六〇六、三三三	一、六〇六、三三三	一、五七三、〇三三

（註）回收金銀、日銀保有金、クレジット等ハ輸入力増強資金トシテ  
控除シ、本表總計中ニハ加ヘス。

右表ノ現状推移ノ場合ニ於ケル輸出貿易並ニ貿易外收支ハ、中南支ヲ第三國（外貨地域）ト見做シタル場合ノ計數ナルカ、此場合ニ中南支ヲモ圓ブロツクニ包含シテ之ヲ外貨地域ヨリ除外スレハ、輸出貿易ハ昭和十四年ハ一億五千餘萬圓、昭和十五年ハ約一億圓ノ減少ヲ見。貿易外收支モ亦兩年トモ五千萬圓乃至八千萬圓程度ノ支拂超過額ノ減少ヲ見ルモ、ト豫想セラレ、新産金ヲ合シタル輸入力ハ結局、昭和十四年ハ約十七億四千萬圓（前表ヨリ約七千二百萬圓減少）、昭和十五年ハ十八億二千四百萬圓（前表ヨリ約一億圓ノ減少）ヲ豫想セラルヘシ。

本邦貿易外收支推定表(一)

項 目	年 次 國 別	昭 和 十 一 年				昭 和 十 二 年				昭 和 十 三 年			
		總 額	滿 洲	北 支	第 三 國	總 額	滿 洲	北 支	第 三 國	總 額	滿 洲	北 支	第 三 國
I 經常的支拂	受取	888,060	205,122	16,785	666,153	850,565	211,450	9,309	599,798	770,800	259,000	15,800	496,000
	支拂	655,205	174,605	23,895	456,705	749,784	224,637	18,000	507,143	1,052,600	238,500	210,100	604,000
	差額	232,855	30,517	△ 7,110	209,448	100,781	16,821	△ 8,695	92,655	281,800	20,500	△ 194,300	△ 108,000
(1) 証券利息配当 預金預金利息等	受取	34,425	23,807	—	10,618	41,387	31,387	—	10,000	44,000	35,000	—	9,000
	支拂	121,070	9,000	—	112,070	119,813	10,000	—	109,813	118,000	11,000	—	107,000
(2) 事業利益及利益	受取	212,353	105,881	13,000	93,472	208,340	113,033	6,509	88,798	209,600	120,000	7,000	80,000
	支拂	15,325	1,270	—	14,055	16,455	1,000	—	15,455	15,500	1,500	—	14,000
(3) 海運関係收支	受取	334,612	3,094	650	330,868	305,608	5,108	500	300,000	248,400	7,000	1,200	240,000
	支拂	140,750	12,058	2,530	126,162	190,180	18,180	2,000	170,000	164,000	20,000	—	140,000
(4) 保険関係收支	受取	137,476	15,840	1,500	120,136	128,280	18,630	1,600	108,000	116,200	22,000	2,200	92,000
	支拂	121,971	7,293	700	113,978	135,329	9,150	804	125,075	125,100	11,000	1,100	113,000
(5) 内外人消費	受取	107,688	22,500	500	84,688	92,500	24,000	200	68,000	75,200	25,000	200	50,000
	支拂	70,507	26,107	5,000	39,400	62,321	28,821	2,000	31,500	60,000	30,000	5,000	25,000
(6) 其 他	受取	61,506	34,000	1,135	26,371	74,500	49,000	500	25,000	80,000	50,000	5,000	25,000
	支拂	185,582	118,897	15,665	51,040	225,686	157,486	1,320	55,000	570,000	165,000	200,000	205,000
II 臨時的收支	受取	677,948	289,044	—	388,904	305,389	191,389	—	214,000	295,000	165,000	—	130,000
	支拂	947,290	545,002	10,574	391,624	722,953	466,924	25,029	231,000	831,010	510,000	100,000	221,000
	差額	△ 269,342	△ 255,958	△ 10,574	△ 2,720	△ 117,564	△ 275,535	△ 25,029	△ 17,000	△ 536,000	△ 345,000	△ 100,000	△ 91,000
(1) 外國人本邦投資 本邦人超外投資	受取	193,014	64,791	—	128,223	170,851	106,854	—	64,000	110,000	80,000	—	30,000
	支拂	652,378	477,897	10,574	1,3927	532,001	406,972	25,029	100,000	681,000	450,000	100,000	131,000
(2) 放債回收及償還	受取	484,934	244,253	—	260,681	234,535	80,535	—	150,000	185,000	85,000	—	100,000
	支拂	294,822	67,125	—	227,697	190,952	89,952	—	131,000	150,000	60,000	—	90,000
III 總 收 支	受取	1,566,008	492,166	16,785	1,055,057	1,255,954	32,887	9,309	813,798	1,065,800	424,000	15,800	626,000
	支拂	1,002,405	719,607	34,469	848,329	1,472,737	691,561	△ 3,033	738,143	1,883,600	748,500	310,100	825,000
	差額	△ 563,603	△ 225,441	△ 17,684	206,728	△ 216,783	△ 258,714	△ 33,724	△ 75,655	△ 817,800	△ 324,500	△ 294,300	△ 199,000

備考(一) 收支額單位千円, △印支拂超過

(二) 本表作製 = 使用シタル基礎資料下記ノ如シ

大藏省発表

昭和十一年貿易外收支表

滿洲國発表

康徳ニ年及ビ滿洲國際收支

(滿洲國經濟週報)

其 他



本 邦 貿 易 外 收 支 推 定 表 (一)

項 目	年 次 目 別	現 狀 推 移										場 合			
		和 十 四 年					和 十 五 年					北 支		第 三 國	
		總 額	滿 洲	對 前 年 比	北 支	對 前 年 比	第 三 國	對 前 年 比	總 額	滿 洲	對 前 年 比	北 支	對 前 年 比	第 三 國	對 前 年 比
I 經常的收入	受取	708,700	281,000	108	18,700	118	409,000	82	699,650	302,000	107	20,650	110	377,000	92
	支拂	1,162,350	267,200	112	235,350	112	600,000	99	1,134,100	294,100	110	258,000	"	582,000	96
	差額	393,850	13,800	67	216,650	"	191,000	177	434,450	7,900	57	237,350	"	205,000	107
(1) 証券利子配当 預金預り金利息等	受取	48,000	40,000	114	—	—	8,000	89	52,000	45,000	113	—	—	7,000	87
	支拂	117,000	12,000	109	—	—	105,000	98	116,000	13,000	108	—	—	103,000	98
(2) 事業儲蓄及貯蓄積	受取	200,000	132,000	110	8,000	114	60,000	75	199,000	140,000	107	9,000	113	50,000	83
	支拂	121,200	2,200	147	—	—	10,000	"	11,500	2,500	114	—	—	9,000	90
(3) 海運関係收支	受取	222,800	9,000	130	2,800	200	211,000	90	217,000	13,500	150	3,500	125	200,000	95
	支拂	163,000	25,000	124	8,000	"	130,000	95	167,500	37,500	"	10,000	"	120,000	92
(4) 保険関係收支	受取	105,250	23,000	105	2,850	120	80,000	88	97,850	25,000	109	2,850	108	70,000	87
	支拂	7,850	10,000	145	1,850	128	100,000	90	104,600	7,600	110	2,000	"	85,000	85
(5) 内外人消費	受取	22,250	—	108	250	125	50,000	100	78,800	28,500	106	300	120	50,000	100
	支拂	62,500	32,000	117	5,500	110	25,000	"	59,500	33,500	105	6,000	109	20,000	80
(6) 其 他	受取	35,000	—	110	5,000	100	—	—	55,000	50,000	100	5,000	100	—	—
	支拂	630,000	135,000	110	220,000	110	230,000	112	675,000	190,000	105	240,000	109	245,000	106
II 臨時的收入	受取	262,000	175,000	106	—	—	27,000	67	235,000	125,000	106	—	—	50,000	57
	支拂	909,000	515,000	111	200,000	200	195,000	88	1,051,000	620,000	110	250,000	125	181,000	93
	差額	△ 647,000	△ 340,000	113	△ 200,000	200	△ 128,000	119	△ 816,000	435,000	112	△ 250,000	"	△ 171,000	121
(1) 外國公債收買 本邦人這外等	受取	102,000	85,000	106	—	—	17,000	50	90,000	90,000	106	—	—	—	—
	支拂	335,000	500,000	111	200,000	200	135,000	103	739,000	556,000	110	250,000	125	139,000	—
(2) 救済團收戻返還	受取	160,000	90,000	106	—	—	70,000	70	145,000	95,000	106	—	—	50,000	71
	支拂	125,000	65,000	108	—	—	60,000	"	112,000	70,000	108	—	—	42,000	70
III 總 收 支	受取	970,700	456,000	—	18,700	118	406,000	80	1,346,50	487,000	107	20,650	110	427,000	86
	支拂	2,062,350	822,200	111	435,350	140	795,000	96	2,185,100	914,100	110	508,000	117	763,000	96
	差額	△ 1,091,650	△ 375,200	116	△ 416,650	142	△ 299,000	150	△ 1,250,450	△ 427,100	114	△ 487,350	"	△ 336,000	113

備 考 (一) 收支額單位4月 △印支拂超過

(二) 第三國 = 八 中 南 支 才 合 △

本邦貿易外收支推定(三)

項目	年度	經濟斷支ノ場合								戰時ノ場合								
		昭和十一年				昭和十一年				昭和十一年				昭和十一年				
		總額	滿洲洲	對前年比	支那	對前年比	第三國	對前年比	總額(甲)	總額(乙)	滿洲洲	對前年比	支那	對前年比	第三國(甲)	對前年比	第三國(乙)	對前年比
I 經常的收支	取 取 差	625,330	289,000	103	28,330	151	308,000	75	370,830	353,830	285,000	99(101)	30,830	109(166)	55,000	18(13)	38,000	12(19)
(1) 証券利子配当預金預り金利子等	取 取 差	47,000	40,000	100	-	-	7,000	88	40,000	40,000	40,000	100(100)	-	-	-	-	-	-
(2) 專業純益及労働利益	取 取 差	197,500	138,000	105	11,500	144	42,000	80	153,800	153,800	142,000	103(108)	11,800	103(147)	-	-	-	-
(3) 郵便関係收支	取 取 差	177,700	13,000	144	6,700	257	158,000	75	85,000	68,000	20,000	150(215)	10,000	150(360)	55,000	34(26)	38,000	24(18)
(4) 保險関係收支	取 取 差	87,650	23,000	100	4,650	175	60,000	75	27,650	27,650	23,000	100(100)	4,650	100(195)	-	-	-	-
(5) 内外人消費	取 取 差	60,480	25,000	93	480	192	350,000	70	20,380	20,380	20,000	80(74)	1,380	80(152)	-	-	-	-
(6) 其他	取 取 差	55,000	50,000	100	5,000	100	100,000	43	44,000	44,000	40,000	80(80)	4,000	80(80)	-	-	-	-
II 臨時的收支	取 取 差	221,000	175,000	100	-	-	46,000	53	175,000	175,000	175,000	100(100)	-	-	-	-	-	-
(1) 外國人本邦放資 本邦人海外放資	取 取 差	85,000	85,000	100	-	-	-	37	85,000	85,000	85,000	100(100)	-	-	-	-	-	-
(2) 放資回收及返還	取 取 差	136,000	90,000	100	280,000	140	90,000	46	90,000	90,000	665,000	108(118)	300,000	107(150)	-	-	-	-
III 總收支	取 取 差	846,330	464,000	102	28,330	151	352,000	70	545,830	528,830	460,000	99(101)	30,830	109(166)	55,000	16(11)	38,000	11(8)
		2,089,600	870,300	107	713,300	164	480,000	61	1,748,050	1,731,050	952,400	107(110)	740,650	104(170)	55,000	11(7)	38,000	8(5)
		1,243,270	426,300	113	674,970	-	132,000	44	1,202,220	1,202,220	472,400	116(131)	709,820	-	-	-	-	-

備考(一) 收支額單位十円、△印支那超過

(二) 本表ハ中南支ヲ用ブロックニ包含シタル結果支那ノ部ノ對前年比ハ十四年比ニ對スル十五年及十六年全支ノ比率ナリ

(三) 昭和十一年ノ對前年比ニ於ケル括弧内數字ハ對十四年比ヲ示ス

三  
輸  
入  
力  
一  
番  
終  
り

本邦貿易外收支推定表(四)

項 目	年 次 別	戰 争 中 場 合							戰 争 中 場 合												
		昭 和		十 五		年			昭 和		十 五		年								
		總 額(甲)	總 額(乙)	對 前 年 比	對 前 年 比	對 前 年 比	對 前 年 比	對 前 年 比	總 額(甲)	總 額(乙)	對 前 年 比	對 前 年 比	對 前 年 比	對 前 年 比	對 前 年 比	對 前 年 比					
I 經常的收支	取 得 差	370,270	350,270	279.40	99	27,870	149	63,000	15	43,000	11	362,090	348,090	285,580	102(100)	31,510	113(109)	45,000	71(11)	31,000	72(8)
	取 得 差	269,010	249,010	272.860	102	433,150	184	63,000	71	43,000	7	777,500	763,500	289,520	106(108)	442,980	102(108)	45,000	71(8)	31,000	72(5)
	取 得 差	398,740	378,740	6,540	47	445,280	187	-	-	-	-	415,410	415,410	3,940	60(29)	411,470	-	-	-	-	
(1) 証券利息配当 預金利息等	取 得 差	40,000	40,000	40,000	100	-	-	-	-	-	-	40,000	40,000	40,000	100(100)	-	-	-	-	-	
	取 得 差	12,000	12,000	12,000	-	-	-	-	-	-	-	12,000	12,000	12,000	“(”)	-	-	-	-	-	
(2) 事業利益及勞務利益	取 得 差	152,820	152,820	141,000	107	11,820	148	-	-	-	-	155,200	155,200	113,300	101(109)	11,930	101(149)	-	-	-	
	取 得 差	2,360	2,360	2,360	-	-	-	-	-	-	-	2,400	2,400	2,400	“(”)	-	-	-	-	-	
(3) 海運関係收支	取 得 差	83,500	63,500	13,500	150	7,000	250	63,000	30	43,000	20	78,950	61,950	20,380	51(22)	10,370	151(37)	45,000	71(21)	31,000	72(13)
	取 得 差	121,500	101,500	37,500	-	21,000	262	63,000	29	43,000	33	133,330	119,330	56,620	“(”)	31,910	“(”)	45,000	71(35)	31,000	72(23)
(4) 探検関係收支	取 得 差	27,650	27,650	23,000	100	4,650	175	-	-	-	-	27,650	27,650	23,000	100(100)	4,650	100(105)	-	-	-	
	取 得 差	19,350	19,350	16,000	-	3,350	181	-	-	-	-	19,350	19,350	16,000	“(”)	3,350	“(181)	-	-	-	
(5) 内外人荷費	取 得 差	21,400	21,400	21,000	80	400	160	-	-	-	-	19,260	19,260	18,900	94(70)	360	90(14)	-	-	-	
	取 得 差	33,800	33,800	25,000	83	8,800	-	-	-	-	-	30,420	30,420	27,500	“(”)	2,920	“(”)	-	-	-	
(6) 其他	取 得 差	4,400	4,400	40,000	80	4,000	80	-	-	-	-	4,400	4,400	40,000	100(80)	4,000	100(80)	-	-	-	
	取 得 差	580,000	580,000	180,000	100	480,000	182	-	-	-	-	580,000	580,000	180,000	“(100)	400,000	“(182)	-	-	-	
II 臨時的收支	取 得 差	175,000	175,000	175,000	100	-	-	-	-	-	-	175,000	175,000	175,000	100(100)	-	-	-	-	-	
	取 得 差	937,000	937,000	640,000	113	297,000	149	-	-	-	-	1,018,000	1,018,000	695,000	109(123)	323,000	109(162)	-	-	-	
	取 得 差	762,000	762,000	465,000	119	297,000	-	-	-	-	-	843,000	843,000	520,000	112(133)	323,000	“(”)	-	-	-	
(1) 外國人本邦投資 本邦人海外投資	取 得 差	85,000	85,000	85,000	100	-	-	-	-	-	-	85,000	85,000	85,000	100(100)	-	-	-	-	-	
	取 得 差	872,000	872,000	575,000	115	297,000	149	-	-	-	-	953,000	953,000	630,000	109(126)	323,000	109(162)	-	-	-	
(2) 投資回收及返還	取 得 差	90,000	90,000	90,000	100	-	-	-	-	-	-	90,000	90,000	90,000	100(100)	-	-	-	-	-	
	取 得 差	65,000	65,000	65,000	-	-	-	-	-	-	-	65,000	65,000	65,000	“(”)	-	-	-	-	-	
III 總收支	取 得 差	545,270	525,270	454,410	100	27,870	147	63,000	12	43,000	7	537,090	523,090	460,580	101(101)	31,510	113(109)	45,000	71(91)	31,000	72(8)
	取 得 差	170,600	168,600	91,280	110	30,150	168	63,000	8	43,000	6	1,795,500	1,781,500	984,520	108(118)	765,780	105(108)	45,000	71(57)	31,000	72(4)
	取 得 差	1,160,740	1,160,740	458,460	112	712,280	169	-	-	-	-	1,258,410	1,258,410	523,740	114(139)	734,470	“(”)	-	-	-	

備考(一) 收支額單位十月、△印文拂起過  
 (二) 本表ニ於テハ中開支ヲ月ノ口ツクニ包含ス 從ツテ昭和十五年支那ノ對前年比ハ十五年會支ノ比率ナリ  
 (三) 昭和十六年對前年比ノ括弧内數字ハ對十四年比ノ派ス

## 本邦貿易外總收入表

		現狀推移					断交	戰前		戰中		戰後	
		昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年		昭和十五年	昭和十六年 (甲)	昭和十六年 (乙)	昭和十五年 (甲)	昭和十五年 (乙)	昭和十六年 (甲)
受取	總額 對11年比 對14年比	1,566,008	1,255,954 80%	1,065,800 68%	970,700 62%	934,650 60%	846,330 54%	545,830 35%	528,830 34%	545,270 35%	525,270 34%	537,090 34%	23,090 33%
支拂	總額 對11年比 對14年比	1,602,405	1,472,737 92%	1,883,600 118%	2,062,550 129%	2,185,100 136%	2,089,600 130%	1,748,050 109%	1,731,050 108%	1,706,010 106%	1,686,010 105%	1,795,500 112%	1,815,500 110%
差額	總額 對11年比 對14年比	△36,397	△216,783 596%	△817,800 2,247%	△1,091,850 3,000%	△1,250,450 3,436%	△1,243,270 3,416%	△1,202,220 3,416%	△1,202,220 3,416%	△1,160,740 3,189%	△1,160,740 3,189%	△1,258,410 3,457%	△1,258,410 3,457%

備考

(一) 收支額單位千円 △印支拂超過

(二) 差額 = 於ケル對十一年比及對十四年比ハ支拂超過額ノ比率ナリ

本邦對國ブロツク貿易外收支表

		現 狀 推 移			断 交	戰 争	戰 争	戰 争		
		昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十五年	昭和十六年	
受 取	總 額	510,951	442,156	439,800	474,700	507,650	492,336	490,830	482,270	492,090
	對總收入比	33%	35%	41%	49%	54%	58%	90%	89%	91.5%
	對 11 年比		87	86	93	99	96	96	94	96
	對 12 年比			99	107	115	111	111	109	111
	對 13 年比				108	118	112	112	110	112
	對 14 年比					107	104	104	102	104
支 拂	總 額	754,076	734,594	1,058,600	1,267,550	1,442,100	1,803,600	1,693,050	1,643,010	1,750,500
	對總支出比	47%	50%	56%	61%	65%	77%	97%	96%	92.5%
	對 11 年比		97	140	168	190	212	226	218	232
	對 12 年比			144	173	196	217	230	224	238
	對 13 年比				120	136	151	160	155	165
	對 14 年比					114	127	135	129	138
差 額	總 額	△ 243,125	△ 292,438	△ 618,800	△ 792,850	△ 914,450	△ 1,111,270	△ 1,202,220	△ 1,160,740	△ 1,258,410
	對 11 年比		120%	255%	326%	376%	457%	494%	477%	518%
	對 12 年比			212	271	313	380	411	397	430
	對 13 年比				128	148	180	194	188	203
	對 14 年比					115	140	152	146	160

備 考 (一) 收支額單位千円 △印 支拂超過  
 (二) 差額 = 於ヶル對前年比率 - 支拂超過額 / 對前年比率 + 1

本邦對第三國貿易外收支表

		現状推移					漸交 昭和十五年	戰 争		戰 争		戰 争	
		昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年		昭和十六年 (甲)	昭和十六年 (乙)	昭和十五年 (甲)	昭和十五年 (乙)	昭和十六年 (甲)	昭和十六年 (乙)
取取	總 額	1,055,057	873,798	626,000	496,000	427,000	354,000	55,000	38,000	63,000	43,000	45,000	31,000
	對總收入比	67%	65%	59%	51%	46%	42%	10%	7%	11%	8%	8.5%	6%
	對11年比		77	59	47	40	34	52	4	6	4	4.3	3
	對12年比			77	61	52	43	68	5	7.7	6	5.5	4
	對13年比				80	68	56	88	6	10	7	7.2	5
	對14年比					86	70	11	8	13	9	9.1	6
支拂	總 額	848,329	738,143	825,000	795,000	763,000	486,000	55,000	38,000	63,000	43,000	45,000	31,000
	對總支出比	53%	50%	44%	39%	35%	23%	3%	2%	4%	2%	2.5%	2%
	對11年比		87	97	94	90	57	6.5	4	7.4	5	5.3	4
	對12年比			112	108	103	66	7.5	5	8.5	6	6.1	4
	對13年比				96	92	59	6.7	5	7.6	5	5.5	4
	對14年比				96	61	7	5	8	6	5.7	4	
差額	總 額	206,728	75,655	△199,000	△299,000	△336,000	△132,000	—	—	—	—	—	—
	對11年比		37%	-196%	-245%	-263%	-164%	—	—	—	—	—	—
	對12年比			-363	-495	-544	-274	—	—	—	—	—	—
	對13年比				150	188	62	—	—	—	—	—	—
	對14年比					113	44	—	—	—	—	—	—

備考 (一) 收支額單位千円、△印支拂超過

(二) 差額 = 於ケル對十一年比及對十二年比ハ取超過額ノ比率ヲ示シ  
對十三年比及對十四年比ハ支拂超過額ノ比率ヲ示ス

産業

(一) 鑛工業概要

周知ノ如ク、日本産業ハ事變以來生産力擴充計畫ト物動計畫ヲ楨杆トシテ、急速ナル構成替ヘ一重工業中心ヘ移行シツツアリ。即チコノ二計畫ヲ通シテ日本經濟ノ脆弱性一重工業部門ノ劣勢、重要資源ノ海外依存ヲ克服シ、廣義國防ト緊密ニ結ヒ付ケル産業ノ高度計畫化ヲ遂行スルニアリ。既ニ事變以來、コレカタメニ種々ノ統制、アラユル助成力行ハレツツアルモ、必要資材ノ不足殊ニ第三國ニ仰クヘキ資材ノ入手困難ハ計畫ノ圓滑ナル進展ヲ阻害スルトコロ極メテ大ナリ。今主要産業ノ主問題ヲ概観スルニ次ノ如シ。

一、鐵鋼業

所謂國防産業ノ中樞タル鐵鋼業ハ熔鑛爐建設ヲ中心トシテ進展シツツアリ。即チ日鐵、八幡、釜石、日本鋼管、小倉製鋼、申山製鐵等相次イテ熔鑛爐ヲ完成シ、尙日鐵輪西、廣畑、清津、日本鋼管

第四號爐、小倉第二號爐、中山第二號熔等引續キ建設セラレツツアリ。

要スルニ鐵鋼業ハ銑鋼一貫法ヲ中心トシテ編成替ヘサレツツアリト言フヲ得ヘク、又コレカタメニ原料鐵鑛石、コークス用粘結炭ノ確保策講セラレツツアリ。既ニ長江筋ノ鐵鑛山ハ夫々ソノ治安恢復ト共ニ華中鑛業、日鐵八幡ノ手ニ依ツテ開發セラレ、北支粘結炭モ亦急速ニ採掘セラレツツアリ。將來トモ、熔鑛爐建設ト中支鐵鑛石、北支粘結炭ノ大量對日供給ノ確保ハ日本鐵鋼業ニトリテ絶對的ニ不可缺ノ條件ニシテ、タトヘ〇ノ場合ニ於テモ、ステニ半ハ建設濟ノモノハ可能ナル限リ早急ニコレカ完成ニ努ムヘキモノト思料ス。過去ノ實績ヨリ之ヲ見レハ、資材、勞力ノ不足ニヨル中山製鋼ノ熔鋼爐建設（建設着手十二年一月、完成十四年七月）遲延ノ如キ、誠ニ遺憾ナリト云ハサルヘカラス。近來問題トナリ居レル群小特殊鋼會社ノ濫立ニヨル資材分散ノ如キヨリミル



モ、從來屢々本會ニ於テ取上ケタル如ク、計畫産業殊ニ鐵鋼業ニ於ケル集中的、重點主義的建設ハ、果斷周到ナル計畫化ノ立場ヨリ速カニ行フヘキモノト思料ス。

### 二、非鐵金屬、輕合金業

非鐵金屬資源ノ不足ハ最モ顯著ナル日本産業ノ脆弱性ニシテ、コレカタメニ事變以來採鑛ニモ消費ニモ種々ノ方策試ミラレツツアリ。銅ノ増産ニ關シテハラサ工業ノ宮古精鍊所建設、石原産業ノ四日市精鍊所建設計畫等ト相並ンテ、又貧鑛ノ開發策講セラレツツアリ。鉛、亞鉛ニ關シテハ、滿洲國揚家杖ノ開發ハ極メテ有望ナリト稱セラル。其精鍊過程ニ於ケル技術ノ不斷ノ改良ト共ニ、コレカ消費部門ニ於ケル一層適切ナル對策必要ナリ。アルミニウムニ關シテハ、原料ヲボ「キサイトニ仰クモ、又礬土頁岩ニ仰クモ技術的困難ハステニ克服セラレ（後者ニ於ケル滿洲輕金屬ノ輝シキ成功）、タタ計畫遂行過程ニ於ケル資材殊ニ電解

過程ニ於ケル水銀整流器等ノ電氣機器、銅等ノ入手困難カ當面緊急ノ問題ナリ。然シナカラ航空機製造、銅ノ代用其他ニ於ケルアルミニウムノ需要増ヨリミテ、擴充計畫ハ是非豫定通り強行セラレルコト必要ナリト思料ス。ナホ當面原料ノ大半ヲ占ムルボーキサイトハ蘭印ピントン島ボーキサイトニ關スル日本側トノ特約等ニヨツテ入手比較的容易ナリト雖モ、一朝有事ノ日ニ備ヘテ、コレカ對策ヲ樹立スル必要アリ。若シ巷間傳ヘラルル如ク、方針カ日本輕金屬ノ許可ニミタル如ク、專ラボーキサイト法ニ依存スルモノトセハ、速カニ之ヲ國產原料法助成ニ轉換セサルヘカラス。マグネシウムニ關シテハ、苦汁法ニヨルモマグネサイト法ニヨルモ、ソノ急速ナル擴張必要ニシテ、平時ニ於テハムシロソノ輸出ニヨツテ輸入力ニ貢獻スルヤウニ計ラサルヘカラス。

### 三 燃料工業

製鐵用原料炭ノ確保ハ當面最大ノ問題ニシテ、コレニ關シテハ日

滿支ヲ一體トシテ、或ハ北支粘結炭ノ對日供給、從來北支炭ノ需要地タリシ中支ニ對スル日本炭ノ供給等、生産、配給ヲ通シテ圓滑ナル方法現ニ講セラレツツアルモ、更ニ昨年十三年度ニハ豫想ヨリ對日供給減少セル滿洲國滿炭系炭礦ノ一層合理的ノ開發ヲ速カニ行フ必要アリ。

石油ニ關シテハ國產原油ノ増産ハ比較的望ミ少ク、東山油田ニテ試ミラレツツアル坑道掘ニ就テモ傳ヘラルル如キ劃期的ナ増産ヲ期待シ得ルヤ否ヤハ疑問ナリ。輸入原油ニ關シテハ依然米國ニ依存スルトコロ極メテ大ナリ。從テ本研究ニ於ケルB、Oノ場合ヲ豫想スル時ハ、從來ノ如クタタ採算上ノ見地ノミヨリ殆ト米國一國ニ依存スルカ如キ現状ハ極メテ危險ナリト云ハサルヘカラス。廣ク他ニ適當ナル原油ヲ求メテ、有事ノ日ニ備ヘサルヘカラス。航空揮發油ニ關シテハ、本年日本石油鶴見製油所ニイソオクタン製造裝置ノ建設傳ヘラルルモ、一層ノ研究、實踐必要ナリト思料ス。

Evidentiary Doc. # 2401  
(2)

30

#### 四 化學工業

本邦化學工業ノ發達ハ歐米諸國ニ比シ著シク立遅レノ感アリシモ戰時體制ノ確立ト共ニ爆藥物原料タル硝酸、硫酸ヲ初メ軍需増加シ、他面國民生活ニ不安ナカラシムル爲ノ纖維原料タルパルプ、重要肥料タル硫酸アンモニア等需要増加セリ、ヨツテ國內自給確保ノタメ本邦各產業中化學工業ノ占ムル比重ハ著シク増大スルニ至レリ。

然シテ主要化學工業中硫酸、硝酸並製紙用パルプニアリテハ輸入ニ依存セスシテ國內生産ニヨル自給可能ナリ。硫酸アンモニアニアリテハ政府ノ獎勵ニ拘ラス利潤ノ低下ヨリ増産計畫ニ齟齬ヲ來セルハ主要農産物自給問題ニ深キ關聯ヲ有スルコトトテ由々シキ問題ナリ。生産ニ對スル適當ナル保證方法ヲ講セサルヘカラス。工業鹽ニアリテハ近海鹽増産計畫進捗シ、本年度ハ新タニ海州鹽ノ對日供給モ可能トナリ、順次所期ノ成果ヲ舉ケツツアリ。

## 五 機械工業

船舶、車輛工業共ニ原材料ノ不充分、勞働力ノ不足ニ苦シミツツモ、引續キ増産ノ傾向ニアリ。

工作機械工業ハ政府ノ手厚キ助成ノ下ニ十四年度ニ於テハ特ニ急テムボノ擴充ヲ遂クルモノト推定セラル。タタコノ部門ニ於テハ遙カニ合理的ナ高度ノ計畫化、製品種類ノ嚴密ナ計畫化、技術的ナ相互融通等カ必要ニテ、現在ノ儘推移スルニ於テハ却テ貴重ナル原材料ヲ浪費スルコトトナラン。配給、生産ヲ通シテ速カニ合理的ナ計畫化ノ行ハルルコトヲ望ンテ止マス。生産力擴充計畫ニ於テ、全計畫産業ニ必要ノ種々ノ機械ノ製作ニ關シテハ自主的ナ配給統制組合ニヨル以外別ニ計畫ノ缺如セルハ、擴充計畫ノ一缺陥トモ云フヘク、主要機械ニ關シテハ別ニ一應ノ見透シヲ與フルコト必要ナリト思料ス。本會ニ於テハ豫テヨリコレカ研究ヲ試ミントセルモ、資料全ク不足ニテ本研究ニ於テモ之ヲ採録スルコト

能ハサリシハ遺憾トスルトコロナリ。

（一）A・B・Cノ場合ニ於ケル鑛工業ノ供給及生産見込

所與ノ三場合ニ於ケル主要産業ノ總供給・生産・滿支依存、第三國輸入其他ヲ總括、表示スレハ次表ノ如シ。

一、鑛工業總供給、生産見込表（第一―第四表）

イ、業種別品目ハ生産力擴充計畫品目（羊毛ヲ除ク）ヲ中心トシ、之ニ海外依存度強キ品目ヲ加ヘタリ。擴充計畫品目中、「金」ハ別掲「本邦輸入能力推定」表ニ「新産金」トシテ計上セリ。電力ニツイテハ本表ニ記載セス、ソノ年度別見込ハ別冊參考資料ニ掲ケタリ。

（尙品目ニ關シテハ貿易・輸入之部參照）

ロ、第一―二表B乙、C乙及ヒ第三―四表B甲、C甲ハ夫々前掲貿易輸入之部「物資別輸入推定比較表」中ノC乙、C甲ノ場合ニ照應スルモノナリ。（貿易同表説明參照）

ハ、各業種別年度別平均ハ、一應、品目別指數ニ各年度毎ノ數量ヲ



基準トスル評量値ヲ加へ、加重算術平均法ニヨツテ算出セリ。但シ機械工業ニ於テハ生産額ヲ基準トスル評量値ニヨレリ。

二、品目別總供給、生産量推定表（一―十二）

イ、總供給量ハ生産、回收、在庫、滿支依存、推定輸入量ヲ加算シタルモノナリ。生産、回收ハ本會ニ於テ可能ナル限り蒐集シ得タル材料ニヨツテ推定計上セリ。然シ在庫ハ據ルヘキ資料ヲ入手シ得ザリシヲ以テ、十五年度以降コレヲ計上セス。タ、B十五、B乙十六、C乙十五、C乙十六年度ニハ鐵鑛石ヲ、B乙十六、B甲十六、C乙十五、C甲十五年度即チ戰爭第一年度ニハ原油ヲ計上セリ。鐵鑛石ノ在庫約三、五〇〇千噸程度、原油ハ在庫七〇〇千噸（一年間ノ輸入量ヲ約三、二〇〇千噸トシ、ソノ四分ノ一、即チ貯油義務カ三ヶ月分ノ程度遂行サレ居ルモノトス）ト推定セリ。ロ、滿支依存量ハ別表ニ摘記セリ。本表品目以外ノ滿支依存ノ品目低燐銑、棉花、羊毛、麻類其他ノ見込ニ就テハ後日ニ讓レリ。

ナホ滿支依存量ヲ、カリニ貿易、輸入之部記載ノ輸入單價ニヨツテ換算シ、ソノ總額ヲ附記シヲケリ。滿支依存量ニ就テハ別ニ詳述ス。

ハ、十五年度以降ノ輸入量ハ貿易、輸入之部「物資別輸入推定比較表」ノ各場合ヲトリ。國內精鍊能力ニ必要ナル原料數量ヲ超ユルモノヲ削除シ、之ニハ※印ヲ附セリ。推定輸入金額ハ同様貿易、「輸入推定比較表」ノ單價ニ依ツテ計算セリ。

(單位 千圓)

場合別	年度別	推定輸入額
A	十四年	一、三六〇、〇〇一
	十五年	一、五八、三〇七
B	十五年	七、〇一〇、〇〇八
	十六年	甲四六、七九〇、三 乙二〇、三八〇、九
C	十五年	甲四七、七五二 乙一〇、〇〇六、九
	十六年	甲四四、〇〇一 乙二〇、三八〇、九

今コノ四六品目ノ年度別推定總供給、生産量ヲ概觀、場合別ニ第一一四表ノ業種別年度別平均ヲ一括スレハ次表ノ如シ。

C				B				A				場合別	
鑛	化	機	金	鑛	化	機	金	鑛	化	機	金	業種別	
學	學	械	屬	學	學	械	屬	學	學	械	屬		
工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工		
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業		
甲乙甲乙甲乙甲乙 一一一 一 一一〇八〇九九 二一七九一九二〇 ●●●●●●●●●● 一五一〇〇六六四				一 一 一 一 〇 〇 九 三 三 二 七 ● ● ● ● 二 三 四 七				一 一 一 一 一 一 一 〇 五 三 五 七 ● ● ● ● 六 六 八 九				十五年	
一一一 一 二二〇九九九〇九 一一七四八〇〇六 ●●●●●●●●●● 六九七三六〇一六				甲乙甲乙甲乙甲乙 一一一一一 一 二二一〇〇九〇九 四四七〇二七〇七 ●●●●●●●●●● 三三二四三一六六				一 一 一 一 二 一 三 一 八 八 九 五 ● ● ● ● 九 〇 一 〇				十六年	

〔〕年度別業種別總供給指數表 (十四年一〇〇)



### 三、Aノ場合

各産業トモAノ場合ニ於テハ十四年度ニ引續キ増産ヲ見、總供給ニ於テモ増加スルモノト推定セリ。タタ十五年度ニ於テ總供給指數ノ生産指數ヲ下廻ハルモノアルハ、生産、滿支依存、輸入共ニ増加セルニ拘ラス十四年度ノ在庫ヲ十五年度ニ於テ計上セサリシニヨルモノナリ。十五、十六年度ノ生産量ハ十三年十四年度上半期ノ各産業、會社別ノ生産力擴充計畫遂行実績ヨリ推シテ、極メテ手堅ク推定セリ。從テ之カ對策ニシテ宜シキヲ得ハ、今一層ノ増産ヲ遂行スルコト難カラス、擴充計畫遂行ノ成否ハ周到果斷ナル指導ニ懸ルモノト云フヘシ。

### 四、Bノ場合

B十五年、經濟斷交ノ場合ニ於テモ、十四年ニ比シテ生産、總供給トモニ増加スヘキモ、タタ金屬工業ニ於テハ例ヘハアンチモンノ如ク原料鑽石ノ輸入困難ニヨツテ減産著シキモノアリ、又銅ノ

如キモ原料鑽石ノ輸入減ニヨツテ生産減少シ、更ニ銅、鉛、錫等ノ輸入減ニヨツテ總供給指數ニ於テ二・三%ノ減少ヲミタリ。B十六年度ニ於テハ、乙、甲ノ場合共ニ僅カノ増産ヲ期待シ得ヘキモ、前年度ニ引續キ生産力擴充計畫ハ嚴重ナル重點主義ノ下ニ、資材ノ入手ハ極メテ困難トナラン。然シテ乙ノ場合ニ於ケル輸入減少ハ金屬、機械工業ノ總供給指數ノ低下ヲ齎セリ。

#### 五〇ノ場合

〇乙十五年ノ場合ニ於テハ必要原料ノ輸入減ニヨツテ十四年度完成ノ設備ニモ完全ニ遂行シ得サルモノヲ生シ、生産ニハ多少減産ヲミルモノモアル可シ。總供給ニ於テハ輸入ノ全面的減退ニヨツテソノ指數ハ生産指數ヲ下廻ハルヘシ。甲十五年ノ場合ニハ事情乙ニ比シテ遙カニ良好ナルヘシト推定シ得ルモ、總供給ニ於テハ金屬、機械、化學工業共ニ十四年ニ比シテ低率ナリ。〇十六年ノ場合ニハ、乙、甲共ニ嚴重ナル重點主義ニヨツテ生産擴充計畫ノ極

ク一部力僅カニ遂行セラルルニ止マリ、總供給ニ於テハ鑛業ヲ除キ各産業トモ減少スルモノト推定セリ。  
ナホ機械工業ノ指數カB十六、C十五、十六年度ニ於テ遞減スルハ、ソノ能力ノ絶對的低下ヲ意味スルモノニ非スシテ、ソノ能力ノ一部ヲ兵器、艦艇製造ニ振向クル可能性極メテ多キヲ考慮ニ入レタルカタメナリ。

#### 六、滿支依存

右ノ三場合ヲ通シテ、滿支ニ對シテハ極メテ巨額ノ期待分ヲ計上セリ。滿洲國、北支（蒙疆ヲ含ム）、中支ノ資源ト日本産業トノ緊密ナル鞆帶ハ早急ニ、當面日本ニ對スル大ナル負擔ノ下ニ打建ラレサル可カラス。殊ニ〇ノ場合ニ於ケル滿支依存分ノ重要性ニ思ヒ至レハ、少クトモ本年下期ニ於テハ滿支擴充計畫用資材ヲ優先的ニ供給スルコトハ絶對ニ必要ナリト思料ス。

推定消費依存量

品目	単位	A					B				C			
		昭和14年	昭和15年	対14年比率	昭和16年	対14年比率	昭和15年	対14年比率	昭和16年	対14年比率	昭和15年	対14年比率	昭和16年	対14年比率
鋼塊	噸	55,000	71,000	129.1	220,000	400.0	84,000	152.7	273,000	496.4	100,000	181.8	327,500	595.5
普通鉄	噸	600,000	620,000	103.3	796,000	132.7	734,000	122.3	959,000	159.8	826,500	137.8	1,041,000	173.5
屑鉄	噸	100,000	100,000	100.0	100,000	100.0	100,000	100.0	100,000	100.0	100,000	100.0	100,000	100.0
鉄石	噸	851,000	1,800,000	211.8	2,900,000	341.2	2,150,000	252.9	3,400,000	400.0	2,850,000	335.3	3,950,000	464.7
モリブデン	噸	190	250	131.6	350	184.2	250	131.6	350	184.2	250	131.6	350	184.2
銅	噸	5,000	5,000	100.0	5,000	100.0	5,000	100.0	5,000	100.0	5,000	100.0	5,000	100.0
鉛	噸	1,700	6,300	370.6	11,700	688.2	8,400	494.1	15,600	917.6	11,100	652.4	21,500	1,264.7
鋅	噸	5,100	3,000	58.4	5,000	98.0	5,600	109.8	9,200	180.4	8,400	164.7	13,900	272.5
ケム	噸	1,600	1,600	100.0	2,000	125.0	1,600	100.0	2,000	125.0	2,000	125.0	2,000	125.0
イド	噸	34,870	42,000	120.7	48,000	137.9	42,000	120.7	48,000	137.9	42,000	120.7	48,000	137.9
石	噸	15,000	18,000	120.0	21,000	140.0	18,000	120.0	21,000	140.0	18,000	120.0	21,000	140.0
綿	噸	3,900	6,000	153.8	12,000	307.7	6,000	153.8	12,000	307.7	6,000	153.8	12,000	307.7
母	噸	120	500	416.7	1,000	833.3	500	416.7	1,000	833.3	500	416.7	1,000	833.3
炭	噸	32,000	35,000	109.4	40,000	125.0	35,000	109.4	35,000	109.4	35,000	109.4	40,000	125.0
炭	噸	10,000	20,000	200.0	20,000	200.0	20,000	200.0	20,000	200.0	20,000	200.0	20,000	200.0
炭	噸	6,240	8,700	139.4	11,600	185.9	7,250	116.2	13,320	213.5	9,250	148.2	18,030	289.4
油	噸	145,000	150,000	103.4	150,000	103.4	150,000	103.4	150,000	103.4	150,000	103.4	150,000	103.4
油	噸	560,000	820,000	146.4	1,095,000	195.5	820,000	146.4	1,095,000	195.5	820,000	146.4	1,095,000	195.5
油	噸	30,000	30,000	100.0	32,000	106.7	32,000	106.7	32,000	106.7	32,000	106.7	32,000	106.7
油	噸	190,000	225,000	118.4	275,000	144.7	225,000	118.4	240,000	126.3	225,000	118.4	270,000	142.1
合計	4用	260,756	346,196	132.8	479,349	183.8	376,362	144.3	539,385	206.9	404,340	155.1	557,495	213.8

- 鑛石金属換算分

- 燧土頁岩



C					B					A					場合別	
支中			北	合	支中			北	合	支中			北			
計	華	大	支		計	華	大	支		計	華	大	支			
計	中	治	烟	計	中	治	烟	計	中	治	烟	計	中	治	烟	
																十四年度
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2500
																十五年度
2	2	1	1	2	1	8	8	5	1	1	7	6	5			5000
8	1	0	7	1	6	8	8	5	8	3	0	0	0			5000
5	5	0	0	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0			5000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			十六年度
3	2	1	1	3	2	1	1	8	2	2	9	1	7			7000
9	9	3	0	4	6	1	5	8	9	2	0	3	0			0000
5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0000

附、鐵鑛石滿支依存量內譯（單位千他）

七 結 語

重要産業ノA、B、C三場合ニ於ケル推移ヲ概観スルニ、一應、各産業トモ戰時下ニ於テホホ十四年度ニ近似セル、又ハ十四年度ヲ遙カニ超ユル生産ヲ示セリ。從テ徒ラニ日本産業ノ脆弱性ト海外依存性ヲ強調スルハ極メテ無意味、有害ナリト云ハサル可カラス。ムシロ、C乙ノ場合ノ如キ極メテ悲觀スヘキ條件下ニ於テモ右ノ如キ生産ヲ舉ケ得ル日本産業ハ、一層高度ノ、シカモ今日ニ比シテ遙カニ合理的ナル計畫化ヲ遂行セハ一層躍進シ得ヘキヲ高唱セサル可カラス。然シテ日本産業ノ眞ノ脆弱性ハ、B、Cノ場合ニ於ケル各品目ノ跛行的生産ニアリ。コノ所謂「隘路」ノ是正ハ、想定ノB、Cノ場合當面之ヲ「見越輸入」ニ仰クコト適當ナラン。前掲貿易・輸入之部本年下期ニ於ケル輸入ヲ織込ミタルC乙、甲ノ場合ノ總供給・生産推定ハ附表第一、第二表ノ如シ。日滿支經濟一體化ト東亞地域ニ於ケル經濟一體化ノ立場ニ立ツ高度ノ國防

經濟ノ重點ハ又ココニ置カレサルヘカラス。コノ一體化ノ完成ニヨツテノミ日本産業ノ「隘路」ハ本質的ニ是正セラルルモノト云フヲ得ヘシ。

最後ニ、本會カ認テヨリ要望セル從來ノ計畫ニ比シテ更ニ一層緊密ナル日滿支ヲ一體化スル可能ナル限り精密ナル物資動員計畫ナクシテハ、日本經濟ノ進ムヘキ方向ヲ正確ニ察知スルコト能ハサルノミナラス、アラユル産業上ノ計畫カ所謂ペーパー・プランニ墮スル危險性極メテ大ナリ。從テ之カ速カニ樹立セラレ、A、B、Cノ三場合ヲ通シテ日本産業カ、當面止ムヲ得サル「隘路」是正ノ配慮ノ下ニ、何等阻害サルルコトナク進展スルコトヲ望ンテ止マス。前掲鑛工業總供給・生産見込ノ示スB、Cノ場合ニ於ケル低指數ハフルルコトヲ禁セラレタルタブーニ非スシテ、ソノ對策ニシテ宜シキヲ得ハ自由ニ上昇セシメ得ル數字ナリ。タタ徒ラニ樂觀的ニ、或ハ悲觀的ニ流ルルコトナク、事態ヲ正視シ、夫ニ備

フルコト必要ナリ。

(註、次ニ参考マテニ獨、英、米ノ重要資源戰時生産比較表ヲ掲  
ケタリ。之カ分析ハ周知ノトコロナレハ省略セリ。)

一、獨 乙

獨・英・米戰時生產比較表

(單位一〇〇萬噸)

二、英 國

品目	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年	一九一八年
石炭	三三五・二〇〇	一九四・八六・三	一八二・八〇・九	一九七・八七・六	二〇六・九一・六	三〇一・八九・三
銑鐵	一九二・〇〇〇	一四七・三・七	一二六・三・二	一三六・八・四	一三六・八・四	一二六・三・二
粗鋼	一七一・〇〇〇	一四八・二・四	一二七・〇・六	一四八・二・四	一四八・二・四	一二七・〇・六

三、米 國

石炭	二九二・一〇〇	二七〇・九二・五	二五七・八八・〇	二六〇・八九・〇	二五二・八六・三	二七九・一
銑鐵	一〇一・〇〇〇	九九〇・〇	九九〇・〇	九〇〇・〇	九〇〇・〇	九九〇・〇
粗鋼	八一〇・〇〇	八二〇〇・〇	九一二・二・五	九一二・二・五	一〇一二・五・〇	一〇一二・五・〇
石炭	五七二・一〇〇	四六六・九〇・一	四八二・九三・二	五三五・一〇三・五	五九一・一一四・三	六一五・二一九・〇
銑鐵	三一・一〇〇	二四・七七・四	三〇・六六・八	四〇・一二九・〇	三九・一二五・八	四〇・一二九・〇
粗鋼	三三・一〇〇	二四・七五・〇	三三・二〇三・一	四三・一三四・四	四六・一四三・八	四五・一四〇・六

第一表 鉱工業總供給見込表 (B16.C16.C16乙1場台)

業種別	品目	單位	A 14年度		A 15年度		A 16年度		B 15年度		B乙 16年度		C乙 15年度		C乙 16年度	
			總供給量	対14年比率	總供給量	対14年比率	總供給量	対14年比率	總供給量	対14年比率	總供給量	対14年比率	總供給量	対14年比率	總供給量	対14年比率
金属工業	普通鋼材	千噸	6,255.0	106.2	6,642.3	106.2	7,042.6	112.6	5,732.5	87.0	5,417.7	86.6	5,044.0	80.6	5,238.0	84.1
	鋼塊	"	7,507.0	106.5	7,992.4	106.5	8,491.4	113.1	6,636.3	88.4	6,772.1	90.2	6,305.0	84.0	6,572.5	87.6
	普通鉄屑	"	4,755.0	118.4	5,628.0	118.4	6,421.0	135.0	6,289.2	132.3	6,253.0	131.5	5,716.5	120.2	6,220.0	130.8
	特殊鋼材	"	364.0	114.7	417.4	114.7	434.4	119.3	414.4	113.8	432.0	118.7	392.0	107.7	429.0	117.9
	フェロアロイ	"	141.0	121.0	170.5	121.0	182.6	129.5	170.5	120.9	180.0	127.7	168.0	119.1	180.0	127.7
	ニッケル	"	11.0	111.1	12.5	111.1	13.0	115.2	10.6	93.9	3.4	30.1	3.1	27.5	3.4	30.1
	銅	"	266.6	106.6	284.2	106.6	289.2	108.5	197.5	74.1	158.3	59.4	156.6	58.7	159.3	59.8
	鉛	"	118.7	144.4	171.5	144.4	178.9	150.7	107.6	90.6	61.9	52.2	57.7	48.6	67.9	57.2
	亜鉛	"	103.2	168.0	173.4	168.0	178.4	172.8	114.3	110.8	79.4	76.9	77.7	75.3	84.4	81.8
	錫	"	12.8	108.1	13.8	108.1	14.1	110.6	9.7	76.1	4.0	30.9	3.7	28.6	4.0	30.9
	アンチモン	"	3.0	110.8	3.3	110.8	3.8	127.0	1.2	45.1	0.5	17.6	0.5	16.0	0.5	17.6
	水銀	"	0.6	95.0	0.8	95.0	0.7	106.7	0.6	94.3	0.1	18.1	0.04	6.4	0.1	18.1
	アルミニウム	"	55.6	119.1	66.2	119.1	109.4	196.8	66.7	120.3	83.1	149.5	44.3	79.7	83.1	149.5
	マグネシウム	"	2.0	302.5	6.1	302.5	7.0	348.8	6.1	302.5	7.0	348.8	6.1	302.5	7.0	348.8
平均			107.9		107.9		115.6		77.7		97.6		90.4		96.6	
機械工業	工作機械	千円	335,598	102.1	342,520	102.1	394,130	117.4	160,000	47.7	152,000	40.3	150,000	47.7	145,000	43.2
	船舶	噸	450,000	111.1	500,000	111.1	550,000	122.2	430,000	95.6	416,000	92.4	430,000	95.6	386,000	85.8
	鉄道車両	輛	1,000	104.0	1,040	104.0	1,100	110.0	940	94.0	900	86.0	860	86.0	800	80.0
	自動車	台	17,000	108.8	18,500	108.8	21,000	123.5	16,000	94.1	15,500	88.2	14,800	87.0	13,500	79.4
	道車	"	1,500	113.3	1,700	113.3	2,000	133.3	1,400	93.3	1,200	80.0	1,200	80.0	1,000	66.7
	平均			115.8		115.8		137.1		102.4		97.1		97.6		90.0
化学工業	人絹用パルプ	千噸	290.0	95.9	278.0	95.9	326.0	112.4	250.0	86.2	270.0	100.0	275.0	94.8	298.0	102.8
	製紙用パルプ	"	884.7	100.8	892.0	100.8	896.0	101.3	840.0	95.0	759.0	85.8	784.0	88.6	706.0	79.8
	揮発油	千噸	1,206.2	137.9	1,662.7	137.9	1,739.1	144.2	1,351.9	113.2	651.5	54.0	632.1	52.5	368.1	30.5
	燈油	"	327.0	112.7	368.4	112.7	377.8	115.5	725.5	131.2	138.4	42.3	134.0	41.0	404	27.8
	軽油	"	217.9	201.1	438.3	201.1	461.1	211.6	300.6	137.4	113.7	79.7	108.6	77.4	70.5	32.3
	重油	"	2,140.6	128.5	2,751.1	128.5	2,781.1	129.9	2,373.8	110.9	1,145.5	52.4	1,123.1	52.5	1,045.5	48.8
	機械油	"	445.0	99.3	441.8	99.3	448.5	100.8	188.9	72.4	159.6	35.9	152.9	34.4	74.6	17.7
	工業塩	千噸	1,750.0	110.0	1,925.0	110.0	2,069.0	118.2	1,625.0	92.7	1,564.0	89.1	1,325.0	75.7	1,164.0	66.5
	曹達灰	"	288.0	110.5	263.2	110.5	285.2	119.8	258.1	108.7	263.4	110.8	215.0	90.3	263.7	110.8
	苛性曹達	"	393.9	112.1	441.5	112.1	479.3	121.7	427.9	108.6	438.5	111.3	346.4	87.9	438.5	111.3
	生石膏	"	62.5	131.9	82.4	131.9	84.4	135.1	55.1	88.2	27.3	43.7	26.1	44.8	27.2	43.5
	硝酸	"	92.6	105.0	97.3	105.0	101.9	110.0	97.3	105.0	101.9	110.0	97.3	105.0	101.9	110.0
	硫酸	"	5,039.0	102.2	5,150.1	102.2	5,255.0	104.0	5,150.0	102.2	5,255.0	104.3	5,150.0	102.2	5,255.0	104.0
	硫酸アンモニウム	"	1,842.0	106.9	1,970.0	106.9	2,105.0	114.4	1,825.0	99.1	2,030.0	110.2	1,825.0	99.1	1,920.0	104.2
平均			113.6		113.6		118.0		103.3		100.4		89.0		94.3	
鉱業	鉄鉱石	千噸	7,726.0	127.2	9,825.0	127.2	10,979.0	142.1	9,755.0	126.3	10,539.0	136.4	9,746.0	126.1	10,304.0	133.4
	マンガン鉱	"	381.0	117.6	447.9	117.6	486.9	127.8	336.6	88.3	219.0	57.5	180.0	47.2	219.0	57.5
	クロム鉱	"	91.5	126.6	115.8	126.6	122.8	134.2	92.9	101.5	75.0	82.0	68.0	74.8	75.0	82.0
	タングステン鉱	"	10.2	114.6	11.7	114.6	12.5	122.5	10.0	98.1	6.0	59.2	5.2	51.4	6.0	59.2
	モリブデン鉱	"	2.5	100.6	2.6	100.6	2.7	105.3	2.2	86.1	0.8	32.4	0.7	27.7	0.8	32.4
	ボクサイト	"	143.6	160.5	230.5	160.5	340.5	397.3	230.5	160.5	404.0	295.3	230.5	160.5	424.0	295.3
	螢石	"	58.5	125.8	73.6	125.8	81.6	139.5	68.3	116.8	66.1	113.0	58.1	99.3	66.1	113.0
	石膏	"	37.4	132.4	49.5	132.4	57.0	152.3	21.3	57.0	15.0	40.0	7.5	20.1	15.0	40.0
	雲母	"	1.0	149.7	1.5	149.7	2.0	202.0	1.0	96.5	1.2	118.6	0.7	66.3	1.2	118.6
	石炭	"	70,640.0	114.4	80,800.0	114.4	89,600.0	126.8	74,440.0	112.5	87,260.0	123.5	78,300.0	110.8	85,430.0	120.9
	原油	千噸	3,028.0	109.0	3,150.0	109.0	3,300.0	109.0	2,603.0	86.0	1,449.0	47.9	1,399.0	46.2	749.0	24.7
平均			115.6		115.6		128.9		113.2		124.3		111.5		121.9	

註. 平均指数は品目別指数に数量を基準とする評量値を加へ、加重算術平均法により算出せり。以下各表コレに準ず。

第二表 鑛工業生産見込表 (B16, C15, C16, Z1場合)

業種別	品目	単位	A14年度		A15年度		A16年度		B15年度		B16年度		C15年度		C16年度	
			生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率
金属工業	普通鋼々材	千吨	5,805.0	110.1	6,393.9	110.1	6,793.2	117.0	5,309.0	91.5	5,412.7	93.3	5,044.0	86.9	5,258.0	90.6
	鋼塊	千	7,252.0	105.5	7,650.0	105.5	8,000.0	110.3	6,388.0	88.0	6,499.1	89.6	6,205.0	85.5	6,254.0	86.1
	普通鉄	千	3,810.0	123.3	4,890.0	123.3	5,480.0	143.8	4,890.0	128.3	5,294.0	139.0	4,890.0	128.3	5,179.0	135.9
	肩鉄	千	1,600.0	92.3	1,476.2	92.3	1,500.0	93.8	1,476.2	92.3	1,287.0	80.4	1,476.2	92.3	1,198.0	74.9
	特殊鋼々材	千	327.0	119.9	392.0	119.9	409.0	125.1	392.0	119.9	432.0	132.1	392.0	119.9	429.0	131.2
	フエロアロイ	千	140.0	120.0	168.0	120.0	180.0	128.6	168.0	120.0	180.0	128.6	168.0	120.0	180.0	128.6
	ニッケル	千	1.0	224.5	2.2	224.5	2.8	285.7	1.6	167.3	1.0	142.9	1.1	112.9	1.4	142.9
	銅	千	122.6	104.3	127.9	104.3	132.9	108.4	108.4	88.4	92.0	75.0	90.0	73.7	93.0	75.9
	鉛	千	64.9	104.8	22.0	104.8	24.0	114.3	22.0	104.8	18.5	89.6	18.6	88.8	18.9	90.1
	亜鉛	千	2.2	120.2	78.0	120.2	81.0	124.8	67.9	104.7	58.7	94.4	57.8	87.0	59.0	96.9
	錫	千	2.5	113.6	2.5	113.6	2.8	127.3	2.5	113.6	2.8	127.3	2.5	113.6	2.8	127.3
	アンチモン	千	0.03	108.1	2.7	108.1	3.1	127.6	0.6	24.6	0.5	20.3	0.5	18.4	0.5	20.3
	水銀	千	27.0	133.3	0.036	133.3	0.108	400.0	0.036	133.3	0.108	400.0	0.036	133.3	0.108	400.0
	アルミニウム	千	2.0	148.1	4.0	148.1	107.4	397.8	40.0	148.1	78.8	291.9	40.0	148.1	78.8	291.9
	マグネシウム	千	6.1	302.5	7.0	302.5	7.0	348.8	6.1	302.5	7.0	348.8	6.1	302.5	7.0	348.8
平均			111.8				121.6		101.6			105.6	98.9		103.2	
機械工業	工作機械	(4月)	10,000	114.3	160,000	114.3	200,000	142.9	160,000	114.3	152,000	108.6	160,000	114.3	145,000	103.6
	船舶	噸	450,000	111.1	500,000	111.1	650,000	122.2	430,000	95.6	416,000	92.4	470,000	95.6	386,000	86.8
	鉄道車両	輛	1,000	104.0	1,090	104.0	1,100	110.0	900	90.0	900	90.0	800	80.0	800	80.0
	貨車	千	17,000	108.8	18,500	108.8	21,000	123.5	16,000	94.1	15,000	88.2	14,000	82.0	13,500	79.4
	客車	千	20,000	113.3	1,700	113.3	2,000	133.3	1,400	93.3	1,200	83.0	1,200	80.0	1,000	66.7
	自動車	台		150.0	50,000	150.0	80,000	200.0	60,000	150.0	59,000	142.5	60,000	150.0	54,000	135.0
平均			119.3				145.3		111.6			105.8	109.1		97.5	
化学工業	人絹用パルプ	噸	160.0	151.9	243.0	151.9	286.0	178.8	240.0	150.0	255.0	159.4	210.0	130.0	258.0	166.3
	紙用パルプ	千	867.7	100.5	872.0	100.5	876.0	101.0	825.0	95.1	739.0	85.2	754.0	86.0	686.0	79.1
	揮発油	千	759.0	112.2	1,230.7	112.2	1,307.1	172.2	976.9	128.7	551.5	72.7	522.1	70.2	268.1	35.3
	燈油	千	224.0	99.3	222.4	99.3	231.8	103.5	218.5	102.2	124.4	55.0	120.0	53.6	76.9	34.3
	重油	千	210.0	268.5	437.8	268.5	460.6	219.3	300.6	143.1	173.7	82.7	108.3	50.3	70.5	33.6
	重油	千	468.0	124.2	581.1	124.2	611.1	130.6	763.0	163.2	393.5	84.1	373.1	81.7	295.5	63.1
	機械油	千	365.0	93.7	360.3	93.7	367.0	100.5	153.5	42.0	156.6	42.9	109.9	41.1	76.6	21.0
	工業油	千	365.0	111.0	405.0	111.0	474.0	129.9	405.0	111.0	474.0	129.9	405.0	111.0	474.0	129.9
	曹達灰	千	208.0	112.1	233.2	112.1	253.2	121.7	226.1	108.7	231.7	114.0	202.0	97.0	221.7	111.4
	苛性曹達	千	393.9	112.1	441.5	112.1	478.3	121.7	429.9	108.6	438.5	111.3	404.9	102.8	438.5	111.3
	硝酸	千	92.6	105.0	97.3	105.0	101.9	110.1	97.3	105.0	100.9	100.0	97.3	100.0	101.9	110.0
	硫酸	千	5,039.0	102.2	5,150.0	102.2	5,255.0	104.3	5,150.0	102.2	5,255.0	104.3	5,150.0	102.2	5,255.0	104.3
硫酸アンモン	千	1,652.0	105.6	1,745.0	105.6	1,830.0	110.8	1,600.0	96.7	1,790.0	108.4	1,600.0	96.7	1,690.0	102.3	
平均			113.7				115.4		109.3			103.2	97.5		101.7	
鑛業	鉄鉱石	千	2,300.0	191.3	4,000.0	191.3	5,000.0	217.0	4,000.0	191.3	5,000.0	217.0	4,000.0	191.3	5,000.0	217.0
	マンガン鉱	千	136.0	118.4	161.0	118.4	200.0	147.1	161.0	118.4	200.0	147.1	161.0	118.4	200.0	147.1
	クロム鉱	千	60.0	113.3	68.0	113.3	75.0	125.0	68.0	113.3	75.0	125.0	68.0	113.3	75.0	125.0
	タングステン鉱	千	4.9	106.1	5.2	106.1	6.0	122.4	5.2	106.1	6.0	122.4	5.2	106.1	6.0	122.4
	モリブデン鉱	千	0.3	110.0	0.3	110.0	0.4	116.7	0.3	110.0	0.4	116.7	0.3	110.0	0.4	116.7
	ボクサイト	千	10.5	638.1	67.0	638.1	126.0	1,200.0	67.0	638.1	126.0	1,200.0	67.0	638.1	126.0	1,200.0
	螢石	千	35.0	114.3	40.0	114.3	45.0	128.6	40.0	114.3	45.0	128.6	40.0	114.3	45.0	128.6
	石膏	千	0.5	300.0	1.5	300.0	3.0	594.0	1.5	300.0	3.0	594.0	1.5	300.0	3.0	594.0
	雲母	千	0.08	133.3	0.1	133.3	0.1	160.0	0.1	133.3	0.1	160.0	0.1	133.3	0.1	160.0
	石炭	千	64,400.0	112.0	72,100.0	112.0	78,000.0	121.1	70,190.0	109.0	73,940.0	114.8	69,050.0	107.2	72,800.0	113.0
原油	千	413.0	109.0	45.0	109.0	5,000.0	121.1	450.0	109.0	5,000.0	121.1	450.0	109.0	5,000.0	121.1	
平均			116.6				129.2		113.9			123.8	112.3		122.3	

鑛工業總供給見込表 (B16, C15, C16用) 場合)

業種別	品目	單位	A14年度		A15年度		A16年度		B15年度		B甲16年度		C甲15年度		C甲16年度	
			總供給量	對14年比率	總供給量	對14年比率	總供給量	對14年比率	總供給量	對14年比率	總供給量	對14年比率	總供給量	對14年比率	總供給量	對14年比率
金屬工業	普通鋼々材	千噸	6255.0	6643.3	106.2	7002.6	112.6	5439.5	87.0	5628.2	90.0	5253.2	84.0	5607.4	89.6	
	鋼塊	"	7507.0	7992.4	106.5	8491.4	113.1	6636.3	88.4	7032.9	93.7	6564.1	87.4	7006.9	93.3	
	普通鉄	"	4755.0	5628.0	118.4	6421.0	135.0	6289.2	132.3	6371.9	134.0	5835.4	122.7	6338.9	133.3	
	屑鉄	"	4948.0	4605.0	93.1	4280.5	86.5	3098.6	62.6	3115.7	63.0	3304.9	66.8	3054.6	61.7	
	特殊鋼々材	"	364.0	417.0	114.7	434.4	119.3	414.4	113.8	432.5	118.8	392.5	107.8	429.5	118.0	
	フェロアロイ	"	141.0	170.6	121.0	182.6	129.5	170.5	120.9	180.4	127.9	168.4	119.4	180.4	127.9	
	ニッケル	"	11.3	12.5	111.1	13.0	115.2	10.6	93.9	4.1	36.7	3.8	34.1	4.1	36.7	
	銅	"	266.6	284.2	106.6	289.2	108.5	197.5	74.1	182.8	68.6	181.1	67.9	182.8	68.9	
	鉛	"	118.7	171.5	144.4	178.9	150.7	107.6	90.6	65.8	55.4	61.6	51.9	71.8	60.5	
	亜鉛	"	103.2	173.4	168.0	178.4	172.8	114.3	110.8	88.0	85.3	86.3	83.6	93.1	90.2	
	錫	"	12.8	13.8	108.1	14.1	110.6	9.7	70.1	12.0	93.9	11.3	88.0	12.0	93.9	
	アンチモン	"	3.0	3.3	110.8	3.8	127.0	12	40.1	1.1	37.7	1.1	36.0	1.1	37.7	
	水銀	"	0.6	0.6	95.0	0.7	108.7	0.6	44.3	0.11	18.3	0.04	6.6	0.11	18.3	
	アルミニウム	"	55.6	66.2	119.1	109.4	196.8	66.7	120.0	83.1	109.5	44.3	79.7	83.1	149.5	
	マグネシウム	"	2.0	6.1	302.5	7.0	348.8	6.1	302.5	7.0	348.8	6.1	302.5	7.0	348.8	
	平均		100.0		107.9		115.0		97.7		100.6		92.6		100.1	
機械工業	工作機械	千台	35598	34252	102.1	37430	107.4	160000	47.7	160000	47.7	160000	47.7	155000	46.2	
	船舶	艘	450000	220000	111.1	550000	122.2	430000	95.6	430000	95.6	430000	95.6	410000	91.1	
	鉄道車輛	輛	1000	1000	100.0	1100	110.0	940	94.0	940	94.0	900	90.0	900	90.0	
	貨車	"	12000	18500	154.2	21000	175.0	161000	94.1	16000	94.1	15400	90.6	15400	90.6	
	客車	"	1000	1700	170.0	2000	200.0	1400	93.3	1200	80.0	1200	80.0	1000	66.7	
	自動車	台	40000	60000	150.0	80000	200.0	60000	150.0	60000	150.0	60000	150.0	58000	145.0	
平均		100.0		115.8		139.1		102.4		102.3		101.0		98.6		
化學工業	人絹用セルロース	千噸	290.0	278.0	95.9	326.0	112.4	275.0	94.8	290.0	100.0	275.0	94.8	298.0	102.8	
	製紙用セルロース	"	884.7	852.0	96.3	898.6	101.3	845.0	95.5	759.0	85.8	780.0	88.6	706.0	79.8	
	揮發油	千升	1206.2	164.9	137.9	1739.1	144.2	1356.9	113.2	1752.8	145.3	1734.3	143.8	1467.4	121.8	
	燈油	"	327.0	368.4	112.7	377.8	115.5	429.5	131.3	370.0	113.2	350.0	107.0	305.0	93.3	
	軽油	"	217.9	438.3	201.1	461.1	211.6	300.6	137.9	257.3	118.1	255.2	115.8	154.1	70.7	
	重油	"	2140.6	2751.1	128.5	2781.1	129.9	2373.8	110.9	2790.6	130.4	2770.2	129.4	2692.6	125.8	
	機械油	"	445.0	291.8	65.6	448.5	100.8	188.9	42.4	240.5	54.5	253.8	57.0	180.5	40.6	
	工業塩	千噸	1750.0	1925.0	110.0	2069.0	118.2	1625.0	92.9	1770.0	100.9	1520.0	87.2	1870.0	106.9	
	曹達灰	"	238.0	263.0	110.5	235.2	119.8	258.1	108.4	251.2	244.2	243.8	102.0	293.2	123.2	
	苛性曹達	"	393.9	441.5	112.1	459.2	121.7	427.9	108.6	494.5	125.5	461.0	116.8	494.5	125.5	
	生石膏	"	62.5	82.4	131.9	84.4	135.1	55.1	88.2	51.3	82.2	50.1	80.2	51.2	81.9	
	硫酸	"	92.6	97.3	105.2	111.9	110.0	97.3	105.0	101.9	110.0	97.3	105.0	101.9	110.0	
	硫酸アンモン	"	5039.0	5150.0	102.2	5255.0	104.3	5150.0	102.2	5255.0	100.3	5150.0	102.2	5255.0	104.3	
平均		100.0		113.6		118.0		103.3		112.2		107.1		107.7		
鑛業	鐵鑛石	千噸	9726.0	9825.0	127.2	10979.0	142.1	9255.0	126.3	10552.0	136.6	9759.0	126.3	10293.0	133.2	
	マンガン鉄	"	381.0	447.9	117.6	486.9	127.8	336.6	88.3	314.4	83.3	278.0	73.1	317.4	83.3	
	クロム鉄	"	91.5	115.8	126.6	122.8	134.2	92.9	101.5	145.0	158.5	138.0	150.8	145.0	158.5	
	タングステン鉄	"	10.2	11.7	114.6	12.5	122.5	10.0	98.1	9.5	92.8	8.7	85.0	9.5	92.8	
	モリブデン鉄	"	2.5	2.6	100.6	2.7	105.3	2.2	86.1	1.0	40.5	6.9	35.8	1.0	40.5	
	ボクサイト	"	103.6	230.5	160.5	570.5	397.3	230.5	160.5	424.0	295.3	359.6	250.0	424.0	295.3	
	螢石	"	58.5	73.6	125.8	81.5	139.5	68.3	110.8	66.2	113.2	58.2	99.5	66.2	113.2	
	石膏	"	37.4	49.5	132.4	57.0	152.3	21.3	57.0	16.6	44.3	9.1	24.3	16.6	44.3	
	燧石	"	1.0	1.5	149.7	2.0	202.0	1.0	96.5	1.2	117.6	0.7	70.4	1.2	117.6	
	石灰	"	70640.0	80800.0	114.4	89600.0	126.8	79440.0	112.5	87260.0	123.5	78300.0	110.8	85430.0	120.9	
	灰	千噸	3028.0	3150.0	104.0	3300.0	109.0	2603.0	86.0	2265.0	74.8	2215.0	73.2	1565.0	51.7	
平均		100.0		115.6		128.9		113.2		124.3		112.1		121.6		



第四表

鑛工業生産見込表 (B16, C15, C16, 甲) 場合)

業種別	品目	單位	A 14年度		A 15年度		A 16年度		B 15年度		B甲 16年度		C甲 15年度		C甲 16年度	
			生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率	生産量	対14年比率
金属工業	普通鋼 欠材	千 噸	5805.0	6393.9	110.1	6793.2	117.3	5309.0	91.5	5626.3	96.9	5251.3	90.5	5605.5	96.6	
	鋼 塊	千	7252.0	7650.0	105.5	8000.0	110.3	6388.8	88.0	6747.5	93.0	6451.7	89.0	6667.0	91.9	
	普通 鉄	千	3810.0	4890.0	128.3	5480.0	143.8	4890.0	128.3	5294.0	139.0	4890.0	128.3	5179.0	135.9	
	屑 鉄	千	1600.0	1476.2	92.3	1568.5	98.0	1476.2	92.3	1287.0	80.4	1476.2	92.3	1225.9	76.6	
	特殊鋼 欠材	千	327.0	392.0	119.9	409.0	125.1	392.0	119.9	432.0	132.1	392.0	119.9	429.0	131.2	
	フイロアロイ	千	140.0	168.0	120.0	180.0	128.6	168.0	120.0	180.0	128.6	168.0	120.0	180.0	128.6	
	ニッケル	千	1.0	2.2	224.0	2.0	285.7	1.6	167.3	1.4	143.9	1.1	113.9	1.4	143.9	
	銅	千	122.6	129.9	106.3	132.9	108.4	108.4	88.4	99.8	81.4	98.1	80.0	100.8	82.2	
	鉛	千	21.0	22.0	104.8	24.0	114.3	22.0	104.8	14.2	91.2	19.0	90.2	19.3	91.7	
	亜鉛	千	64.9	78.0	120.2	81.0	124.8	81.9	104.7	59.4	91.5	75	90.2	59.8	92.2	
	錫	千	2.2	2.5	113.6	2.8	127.3	2.5	113.6	2.8	127.3	2.5	113.6	2.8	127.3	
	アンチモン	千	2.5	2.7	108.1	3.1	127.6	0.6	24.6	1.1	33.7	1.1	41.7	1.1	33.7	
	水銀	千	0.03	0.036	133.3	0.108	400.0	0.036	133.3	0.11	400.0	0.036	133.3	0.11	400.0	
	アルミニウム	千	27.0	40.0	148.1	107.4	397.5	40.0	148.1	78.8	291.9	40.0	148.1	78.8	291.9	
マグネシウム	千	2.0	6.1	302.5	7.0	348.8	6.1	302.5	7.0	348.8	6.1	302.5	7.0	348.8		
平均		100.0		111.8		121.6		101.6		107.7		100.9		102.5		
機械工業	工作機械	千 月	140000	160000	114.3	200000	142.9	160000	114.3	160000	114.3	160000	114.3	160000	114.3	
	船舶	噸	450000	500000	111.1	550000	122.2	400000	88.9	430000	95.6	430000	95.6	410000	91.1	
	鉄道車	輛	1100	1040	94.5	1100	100.0	940	85.5	940	85.5	900	81.8	900	81.8	
	自動車	台	17000	18500	108.8	21000	123.5	16000	94.1	16000	94.1	15400	90.6	15400	90.6	
	客車	台	1500	1700	113.3	2000	133.3	1400	93.3	1200	80.0	1200	80.0	1000	66.7	
	平均		100.0		107.3		105.3		111.6		111.5		110.3		107.4	
化学工業	人絹用ハル70	千 噸	100.0	243.0	243.0	28.0	178.8	240.0	150.0	255.0	159.4	210.0	150.0	258.0	161.3	
	紙用ハル70	千	567.0	872.0	153.8	576.0	101.6	825.0	95.1	739.0	85.2	764.0	85.0	686.0	79.1	
	揮発油	千 升	751.0	1230.9	163.9	307.0	172.2	976.9	128.7	752.8	99.2	734.3	96.7	467.0	61.8	
	燈油	千	224.0	224.0	100.0	231.8	103.5	318.5	142.2	277.7	124.0	273.4	122.0	230.2	102.8	
	軽油	千	210.0	231.8	110.4	260.6	124.1	300.6	143.1	257.3	122.5	252.2	120.1	154.1	73.4	
	重油	千	468.0	581.1	124.2	611.1	130.6	763.8	163.2	640.6	136.9	620.2	132.5	542.6	115.9	
	機械油	千	365.0	360.3	98.7	367.0	100.5	153.5	42.0	237.8	65.2	231.1	63.3	157.8	43.2	
	工業塩	千 噸	365.0	465.0	126.3	474.0	129.9	405.0	111.0	474.0	129.9	405.0	111.0	474.0	129.9	
	曹達灰	千	208.0	233.2	112.1	253.2	121.7	226.1	108.7	261.2	125.6	211.8	101.8	261.2	125.6	
	苛性曹達	千	373.9	441.5	118.1	479.3	128.2	427.9	114.6	494.5	132.2	401.0	107.3	494.5	132.2	
	硝酸	千	92.6	97.3	105.1	101.9	110.0	97.3	104.8	101.9	110.0	97.3	105.0	101.9	110.0	
硫酸	千	5039.0	5150.0	102.2	5255.0	104.3	5150.0	102.2	5255.0	104.3	5150.0	102.2	5255.0	104.3		
硫酸アンモン	千	1052.0	1245.0	118.3	1830.0	174.0	1600.0	96.9	1790.0	108.4	1600.0	96.9	1690.0	102.3		
平均		100.0		117.5		123.6		111.3		107.2		103.0		104.6		
鑛業	鐵 石	千 噸	2300.0	4000.0	173.9	5000.0	217.4	4110.0	178.7	5000.0	217.4	4400.0	191.3	5000.0	217.4	
	マンガン鉄	千	136.0	161.0	118.4	200.0	147.1	161.0	118.4	200.0	147.1	161.0	118.4	200.0	147.1	
	クロム鉄	千	60.0	68.0	113.3	75.0	125.0	68.0	113.3	75.0	125.0	68.0	113.3	75.0	125.0	
	タングステン鉄	千	4.9	5.2	106.1	6.0	122.4	6.2	106.1	6.0	122.4	6.2	106.1	6.0	122.4	
	モリブデン鉄	千	0.3	0.3	100.0	0.4	116.7	0.3	110.0	0.4	116.7	0.3	110.0	0.4	116.7	
	ホウソウ	千	10.5	67.0	638.1	126.0	1200.0	67.0	638.1	126.0	1200.0	67.0	638.1	126.0	1200.0	
	燐 石	千	35.0	40.0	114.3	45.0	128.6	40.0	114.3	45.0	128.6	40.0	114.3	45.0	128.6	
	石 膏	千	0.5	1.5	300.0	3.0	594.0	1.5	300.0	3.0	594.0	1.5	300.0	3.0	594.0	
	炭 酸 鈣	千	0.8	0.1	133.3	0.1	160.0	0.1	133.3	0.1	160.0	0.1	133.3	0.1	160.0	
	石 炭	千	64000.0	72100.0	112.6	78000.0	121.9	70190.0	109.8	73940.0	114.8	69050.0	107.9	72800.0	113.0	
	炭 酸 鈣	千 升	113.0	450.0	109.0	500.0	121.1	450.0	109.0	500.0	121.1	450.0	109.2	500.0	121.0	
平均		100.0		116.6		129.2		113.9		123.8		112.6		122.2		

△. 14年度品目別總供給・生産量推定表

品目	單位	總供給量	生産	回收	在庫	透支依存	推定輸入量	金額	備考
普通鋼々材	噸	6,255,000	5,805,000	-	300,000	-	150,000	30,000 <sup>4月</sup>	
鋼塊	噸	2,507,000	2,252,000	-	-	55,000	200,000	27,000	
普通鉄屑	噸	4,755,000	3,810,000	-	-	600,000	345,000	51,750	
屑鉄	噸	4,948,000	1,800,000	1,100,000	-	100,000	2,148,000	170,284	
鐵灰石	噸	7,726,000	2,300,000	5,500,000	330,000	850,000	3,596,000	82,708	
特殊鋼々材	噸	354,000	327,000	-	15,000	-	22,000	37,422	
フェロアロイ	噸	141,000	140,000	-	-	-	1,000	2,642	
マンガン鉄	噸	381,000	136,000	-	-	-	245,000	17,150	
クロム鉄	噸	91,500	50,000	-	1,500	-	30,000	2,100	
タンブステン鉄	噸	10,200	0,900	-	300	-	5,500	19,500	
モリブデン鉄	噸	2545	300	-	55	190	2,070	7,200	
ニッケル	噸	11,280	980	1,000	300	-	9,000	27,700	
銅	噸	266,800	122,800	24,000	-	屑 5,000	115,000	47,580	
鉛	噸	118,700	21,000	6,000	5,000	1,700	107,000	30,750	
亜鉛	噸	103,200	64,900	1,200	5,000	5,100	27,000	5,910	△ 鉄石金屬換算分
錫	噸	12,780	2,200	180	1,000	-	9,400	35,250	
アンチモン	噸	2,900	2,400	-	-	-	500	425	
水鉄	噸	612,000	27,000	-	-	-	585,000	4,680	
アルミニウム	噸	55,600	27,000	-	-	1,600	27,000	48,600	
ボークサイト	噸	143,600	10,500	-	-	□ 34,800	98,300	2,949	□ 礬土頁岩
マグネシウム	噸	2,070	210	-	-	-	-	-	
炭石	噸	58,500	35,000	-	-	15,000	8,500	833	
石綿	噸	57,000	500	-	-	3,900	33,000	940	
炭母	噸	995	75	-	-	120	800	5,890	
人用用バルブ	噸	290,000	100,000	-	-	32,000	98,000	27,463	
鉄瓶用バルブ	噸	84,700	867,700	-	-	10,000	7,000	1,122	
石炭	噸	70,540	64,400	-	-	6,240	-	-	
原油	噸	3,028,000	413,000	-	115,000	-	2,500,000	1,25,830	
揮発油	噸	1,206,200	759,000	-	57,200	-	390,000	38,000	
燈油	噸	327,000	224,000	-	10,000	-	93,000	7,254	
煤油	噸	217,900	210,000	-	7,600	-	300	21	
重油	噸	2,144,600	468,000	-	27,600	145,000	1,500,000	63,750	
機械油	噸	445,000	365,000	-	-	-	80,000	24,960	
工業塩	噸	1,150,000	365,000	-	-	560,000	825,000	18,975	
曹達灰	噸	238,000	208,000	-	-	30,000	-	-	
苛性曹達	噸	393,900	393,900	-	-	-	-	-	
生石灰	噸	62,500	-	再生 8,500	-	-	54,000	70,200	
硝酸	噸	92,640	92,640	-	-	-	-	-	
硫酸	噸	5,039,000	5,039,000	-	-	-	-	-	
硫酸アンモン	噸	1,842,000	1,652,000	-	-	190,000	-	-	
工作機械	4月	335,598	140,000	-	-	-	-	195,598	
船	噸	450,000	450,000	-	-	-	-	部品 1,150	
鐵道機車	輛	1,000	1,000	-	-	-	-	-	
貨車	輛	17,000	17,000	-	-	-	-	-	
客車	輛	1,500	1,500	-	-	-	-	-	
自動車	台	40,000	40,000	-	-	-	-	部品 17,200	
總計								1360,201	

A 15 年度

品目	単位	總供給量	對14年比率	生産量	對14年比率	在庫	満文依存	推定輸入量	對14年比率	金額	備考
普通鋼	噸	6643.320	106.2	6,393.920	110.1	-	-	249,400	166.3	49,800	
鋼塊	"	2,772,400	106.5	7,650,000	105.5	-	71,000	271,400	135.7	40,710	
普通銑鉄	"	5,628,010	118.4	4,894,000	128.3	-	620,000	* 118,010	34.2	17,712	
屑鉄	"	4,605,000	93.1	1,476,200	92.3	1,000,000	100,000	* 2,028,800	91.5	152,160	
鐵鉍石	"	9,825,000	127.2	4,400,000	191.3	1,500,000	1,800,000	* 2,875,000	79.9	238,625	
特殊鋼	噸	2,173,60	114.7	392,000	119.9	-	-	25,360	115.3	43,137	
フエロアロイ	"	1,706,30	121.0	168,000	120.0	-	-	2,630	263.0	6,948	
マンガン鉄	"	447,908	117.6	161,000	118.4	-	-	286,968	117.1	20,080	
クローム鉄	"	15,800	126.6	68,000	113.3	-	-	47,800	159.3	3,346	
タンステン鉄	"	1,694	114.6	5,200	166.1	-	-	6,494	129.9	25,327	
モリブデン鉄	"	2,560	110.6	330	110.0	-	250	* 1982 9330	99.1	7,128	
ニッケル	"	1,2530	111.1	2,200	224.5	1,000	-	47,310	372.6	28,923	
銅	"	2,812,40	106.6	1,279,000	104.3	肩25000	肩	108,600	101.0	107,389	
鉛	"	1,71,960	104.4	52,000	104.8	6,000	6,300	* 37160	114.0	37,200	
亜鉛	"	1,78,550	168.6	78,000	120.2	3,000	3,000	* 3,547 89,350	105.2	33,205	
錫	"	13,010	108.1	2,500	113.6	210	-	43,900	182.9	29,486	
アンチモン	"	3,280	114.8	2,660	108.1	-	-	11,100	118.1	4,162.5	
水銀	斤	5,812,20	95.0	36,000	133.3	-	-	620	104.0	600	
アルミニウム	噸	66,200	119.1	90,000	148.1	-	1600	6,000	120.0	2,400	
ボーキサイト	"	230,500	160.5	35,000	638.1	-	42,000	* 24,600	91.1	44,210	
マグネシウム	"	6,080	302.5	6,080	302.5	-	-	12,150	123.6	3,645	△ 明礬石 □ 礬土質
炭石	"	73,110	125.8	40,000	114.8	-	18,000	15,600	183.5	1,529	
石綿	"	49,500	132.4	1,500	300.0	-	6,000	42,000	129.3	9,660	
燐母	"	1,470	149.7	100	133.3	-	500	890	111.3	3,115	
人絹用パルプ	噸	270,000	95.7	243,000	151.9	-	35,000	-	-	-	
製紙用パルプ	"	892,000	100.8	872,000	100.5	-	20,000	-	-	-	
石炭	噸	20,800	114.4	72,000	112.0	-	8,700	-	-	-	
揮発油	噸	3,150,000	104.0	450,000	109.0	-	-	* 2,700,000	108.0	146,500	
燈油	"	1,662,850	137.9	1,230,850	162.2	-	-	432,000	170.8	32,400	
軽油	"	364,000	112.7	222,400	99.3	-	-	146,000	157.0	11,311	
重油	"	438,250	201.1	437,750	208.5	-	-	500	166.7	35	
機械油	"	2,751,050	128.5	581,050	124.2	-	150,000	2,020,000	124.7	85,850	
工業用油	"	441,810	99.3	360,300	98.7	-	-	81,510	101.9	25,431	
工業用塩	噸	1,925,000	110.0	405,000	111.0	-	820,000	* 700,000	89.8	16,100	
曹達	"	263,200	116.5	233,200	112.1	-	30,000	-	-	-	
苛性曹達	"	441,500	112.1	441,500	112.1	-	-	-	-	-	
生石膏	"	82,410	131.9	-	-	1,020	-	72,210	133.7	93,873	
硫酸	噸	97,270	105.0	97,270	105.0	-	-	-	-	-	
硫酸アンモン	"	5,150,000	102.2	5,150,000	102.2	-	-	-	-	-	
工機	4月	1,970,000	106.7	1,745,000	105.6	-	225,000	-	-	-	
船舶	噸	342,520	102.1	160,000	114.3	-	-	-	-	182,520	
船舶	噸	500,000	111.1	500,000	111.1	-	-	-	-	-	
鐵道車輛	輛	1,040	104.0	1,040	104.0	-	-	-	-	-	
貨車	"	18,500	108.8	18,500	108.8	-	-	-	-	-	
客車	"	1,700	113.3	1,700	113.3	-	-	-	-	-	
自動車	台	60,000	150.0	60,000	150.0	-	-	-	-	部留 19,400	

總計 1581,307

品目	単位	数量	対14年比率	生産	対14年比率	回収	在庫	満支依存	推定輸入量	対14年比率	金額	備考
普通鋼	材	700,260	112.6	793,200	117.0	-	-	220,000	249,400	166.3	49,800	
鋼塊	"	8,471,480	113.1	8,000,000	110.3	-	-	790,000	271,400	135.7	40,710	
普通鋼	材	6,421,080	135.0	5,480,000	143.8	-	-	100,000	*145,000	42.0	21,750	
鋼板	"	4,280,500	86.5	1,568,500	98.2	1,000,000	-	2,900,000	*1,612,000	75.0	121,900	
鉄石	"	10,979,000	122.1	5,000,000	217.4	850,000	-	-	*2,229,000	62.0	185,007	
特殊鋼	材	434,360	119.3	409,000	125.1	-	-	-	25,360	115.3	43,137	
フェロアロイ	"	12,630	129.5	180,000	128.6	-	-	-	2,630	263.0	6,940	
マンガン鉄	"	4,669,080	127.8	200,000	147.1	-	-	-	286,908	117.1	20,080	
クロム鉄	"	12,800	134.2	75,000	125.0	-	-	-	47,800	159.3	3,346	
タンブステン鉄	"	2,494	122.5	6,000	122.4	-	-	-	6,494	129.9	25,327	
モリブデン鉄	"	2,680	105.3	350	116.7	-	-	350	1,980	89.1	7,128	
ニッケル	"	13,000	115.2	2800	285.7	1,000	-	-	*9,200	120.2	28,520	
銅	"	289,240	108.5	132,900	108.4	25,000	-	肩 5,000	125,840	109.9	107,389	
鉛	"	198,860	150.7	24,000	114.3	6,000	-	117.0	124,800	161.4	34,005	
亜鉛	"	178,350	172.8	81,000	124.8	3,000	-	5,000	89,350	330.9	1,691	
錫	"	14,140	110.6	2,800	127.3	240	-	-	11,100	118.1	4,1625	
アンチモン	"	3,760	109.0	3,140	127.0	-	-	(鉄 1,000)	620	129.0	600	
水銀	担	653,220	106.7	108,000	200.0	-	-	-	6,000	120.0	2,400	
アルミニウム	担	109,400	196.8	107,400	397.0	-	-	2,000	*545,220	93.2	4,362	
ボーキサイト	"	574,500	397.3	88,000	1,200.0	-	-	口 48,000	*396,500	403.4	11,895	口 礬土 礬石
マグネシウム	"	7,010	348.8	7,010	348.8	-	-	-	-	-	-	
炭石	"	81,600	139.5	45,000	128.6	-	-	21,000	15,600	183.5	1,529	
石綿	"	56,970	152.3	2,970	394.0	-	-	12,000	42,000	127.3	9,660	
雲母	"	2,010	202.0	120	100.0	-	-	1,000	890	111.3	3,115	
人絹用バルブ	英噸	326,000	112.4	286,000	128.8	-	-	40,000	-	-	-	
製紙用バルブ	"	896,000	101.3	876,000	101.0	-	-	20,000	-	-	-	
石炭	千 噸	89,600	126.8	78,000	121.1	-	-	11,600	-	-	-	
原油	千 噸	3,300,000	109.0	500,000	121.1	-	-	-	*2,800,000	112.0	154,500	
揮発油	"	1,739,060	144.2	1,307,060	172.2	-	-	-	432,000	110.8	32,400	
燈油	"	397,750	115.5	231,750	103.5	-	-	-	146,000	157.0	11,388	
重油	"	461,060	211.6	460,560	219.3	-	-	-	500	166.7	35	
重油	"	2,781,100	129.9	611,100	130.6	-	-	150,000	2,020,000	134.7	83,850	
機油	"	448,510	100.8	367,000	100.5	-	-	-	81,510	101.9	25,431	
工業用塩	噸	2,069,000	118.2	474,000	129.9	-	-	1,095,000	*500,000	60.0	11,500	
普達灰	"	285,200	119.8	253,200	121.7	-	-	32,000	-	-	-	
苛性普達	"	479,300	121.7	479,300	121.7	-	-	-	-	-	-	
生ゴム	"	89,410	135.1	-	-	再生 12,200	-	-	72,210	133.7	93,873	
硝酸	"	101,904	110.0	101,904	110.0	-	-	-	-	-	-	
硫酸	"	5,255,000	104.3	5,255,000	104.3	-	-	-	-	-	-	
硫酸アンモニウム	"	2,105,000	114.4	1,830,000	110.8	-	-	295,000	-	-	-	
工作機械	千 月	394,130	117.4	200,000	142.9	-	-	-	-	-	194,130	
船舶	噸	550,000	122.2	550,000	122.2	-	-	-	-	-	-	
鐵道機車	輛	1100	110.0	1100	110.0	-	-	-	-	-	-	
貨車	"	21,000	123.5	21,000	123.5	-	-	-	-	-	-	
客車	"	2000	133.3	2000	133.3	-	-	-	-	-	-	
自動車	台	80,000	200.0	80,000	200.0	-	-	-	-	-	一部 20,800	

總計 1,477,926